

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床医学論(講義)
担 当 教 員	泉谷泰行
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床医学論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床において、患者に対して質の高い医療を提供するためには、疾患に関する東洋医学的側面からの理解だけではなく、同様に現代医学的側面からの知識も基盤に持ち、目の前の患者の病態を正しく理解することが必要不可欠である。そこで、本講義では、各領域の主要な疾患の「病態生理」・「症候」・「検査と治療」について学習する。
到 達 目 標	各疾患の病態のメカニズムについて解剖学・生理学の知識を基盤として理解し説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～令和4年3月 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 令和2年4月～現在に至る。 大阪青山大学健康科学部看護学科教員 解剖生理学・病理病態学などを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍 3. 研究実績 鍼灸学修士 明治鍼灸大学大学院 医学博士 京都府立医科大学大学院

1	項目	呼吸器系①
	学習目標・ポイント	呼吸器系の症候について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
2	項目	呼吸器系②
	学習目標・ポイント	呼吸器系の検査・治療について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
3	項目	循環器系①
	学習目標・ポイント	循環器系の症候について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
4	項目	循環器系②
	学習目標・ポイント	循環器系の検査・治療について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
5	項目	消化器系①
	学習目標・ポイント	消化器系の症候について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
6	項目	消化器系②
	学習目標・ポイント	消化器系の検査・治療について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
7	項目	肝臓・胆のう・膵臓①
	学習目標・ポイント	肝臓・胆のう・膵臓の症候について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
8	項目	肝臓・胆のう・膵臓②
	学習目標・ポイント	肝臓・胆のう・膵臓の検査・治療について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
9	項目	内分泌系①
	学習目標・ポイント	内分泌系の症候について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
10	項目	内分泌系②
	学習目標・ポイント	内分泌系の検査・治療について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
11	項目	泌尿器系①
	学習目標・ポイント	泌尿器系の症候について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
12	項目	泌尿器系②
	学習目標・ポイント	泌尿器系の検査・治療について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
13	項目	神経系①
	学習目標・ポイント	神経系の症候について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
14	項目	神経系②
	学習目標・ポイント	神経系の検査・治療について学習する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
15	項目	総復習 評価
	学習目標・ポイント	第1回～14回までの総復習
	使用する材料	配布資料
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床医学論(演習)
担 当 教 員	泉谷泰行
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床医学論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床において、患者に対して質の高い医療を提供するためには、疾患に関する東洋医学的側面からの理解だけではなく、同様に現代医学的側面からの知識も基盤に持ち、目の前の患者の病態を正しく理解することが必要不可欠である。そこで、本講義では、各領域の主要な疾患の「病態生理」・「症候」・「検査と治療」について学習する。
到 達 目 標	各疾患の病態のメカニズムについて解剖学・生理学の知識を基盤として理解し説明できる
成績評価方法及び基準	必要出席数「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～令和4年3月 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 令和2年4月～現在に至る。 大阪青山大学健康科学部看護学科教員 解剖生理学・病理病態学などを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍 3. 研究実績 鍼灸学修士 明治鍼灸大学大学院 医学博士 京都府立医科大学大学院

1 項	目	呼吸器系①
学習目標・ポイント		呼吸器感染症・換気障害(閉塞性・拘束性)について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
2 項	目	呼吸器系②
学習目標・ポイント		肺腫瘍・肺循環疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
3 項	目	循環器系①
学習目標・ポイント		心不全・虚血性心疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
4 項	目	循環器系②
学習目標・ポイント		心臓弁膜症・先天性心疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
5 項	目	消化器系①
学習目標・ポイント		食道疾患・胃十二指腸疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
6 項	目	消化器系②
学習目標・ポイント		大腸疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
7 項	目	肝臓・胆のう・膵臓①
学習目標・ポイント		肝炎・肝硬変・肝臓癌について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
8 項	目	肝臓・胆のう・膵臓②
学習目標・ポイント		胆道疾患・膵疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
9 項	目	内分泌系①
学習目標・ポイント		視床下部・下垂体・甲状腺疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
10 項	目	内分泌系②
学習目標・ポイント		副甲状腺・副腎疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
11 項	目	泌尿器系①
学習目標・ポイント		糸球体疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
12 項	目	泌尿器系②
学習目標・ポイント		腎不全について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
13 項	目	神経系①
学習目標・ポイント		脳血管障害について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
14 項	目	神経系②
学習目標・ポイント		神経変性疾患・脱髄性疾患について学習する。
使用する材料		配布資料
備考		
15 項	目	総復習 評価
学習目標・ポイント		第1回～14回までの総復習
使用する材料		配布資料
備考		

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	リハビリテーション医学(講義)
担 当 教 員	鍵 隆
科 目 名 ( 中 項 目 )	社会医学特論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床を行う上で、客観的評価を行うことはとても重要である。 本講義において、主要な疾患に対する徒手検査、粗大動作から得られる情報をもとに病態を把握できるように知識・技術を得る。また、各疾患の運動療法についての知識を得る。
到 達 目 標	徒手検査、動作分析の知識技術、運動療法の方法について学生に指導できるようになることを目指す。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 前期中間テスト50%、後期評価試験(授業内評価)50%を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 H18～23年4月 行岡リハビリテーション専門学校において理学療法研究論講義を担当 H18～現在 平成医療学園専門学校においてリハビリテーション医学を担当  実務上の業績(臨床経験等) 1. 大阪府済生会中津病院リハビリテーションセンター勤務 約10年 2. 医療法人 前田整形外科勤務 約17年 3. 同法人関連整骨院 院長経験

1	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	評価法概論、ジャクソン、スパーリング
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法評価法 鍼灸療法技術ガイド
2	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	イトン、モーリー、ライト
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
3	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	エデン、アドソン、ルース
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
4	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	反射:上腕二頭筋、腕橈骨筋、上腕三頭筋、ROM:頸、筋力:上腕二頭筋、腕橈骨筋、上腕
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
5	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ヤーガソン、ペインフルアーク、ドロップアーム
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
6	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ダウバーン、ニア・ホーキンス、肩アプリーヘンジョン
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド、理学療法評価法
7	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	トムゼン、逆トムゼン、ファーレン、アイヒホッフ
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
8	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ROM:肩、肘、手 筋力:浅指・深指屈筋、背側・掌側骨間筋、
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド、徒手筋力検査法
9	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ニュートン、SLR、ブラガード、ラセーグ
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
10	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	ボンネット、FNS、パトリック、トーマス
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
11	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	反射:膝蓋腱、アキレス腱、ROM:腰、筋力:大腿四頭筋、腓骨筋、長母趾伸筋
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
12	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	膝蓋跳動、膝蓋骨圧迫、膝蓋骨アプリーヘンジョン
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
13	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	圧アプリー引アプレイ、マックマレー、外反・内反ストレステスト
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
14	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	前方・後方引き出しテスト、ラックマン、グラスピングテスト
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド
15	項目	現代医学検査測定
	学習目標・ポイント	下肢アライメント、ステインマン、Nテスト、ROM:膝、
	使用する材料	配布資料
	備考	鍼灸療法技術ガイド

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	リハビリテーション医学(講義)
担 当 教 員	鍵 隆
科 目 名 ( 中 項 目 )	社会医学特論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床を行う上で、客観的評価を行うことはとても重要である。 本講義において、主要な疾患に対する徒手検査、粗大動作から得られる情報をもとに病態を把握できるように知識・技術を得る。また、各疾患の運動療法についての知識を得る。
到 達 目 標	徒手検査、動作分析の知識技術、運動療法の方法について学生に指導できるようになることを目指す。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 前期中間テスト50%、後期評価試験(授業内評価)50%を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 H18～23年4月 行岡リハビリテーション専門学校において理学療法研究論講義を担当 H18～現在 平成医療学園専門学校においてリハビリテーション医学を担当  実務上の業績(臨床経験等) 1、大阪府済生会中津病院リハビリテーションセンター勤務 約10年 2、医療法人 前田整形外科勤務 約17年 3、同法人関連整骨院 院長経験

16 項	目	運動療法
	学習目標・ポイント	五十肩
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
17 項	目	運動療法
	学習目標・ポイント	五十肩
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
18 項	目	運動療法
	学習目標・ポイント	腰痛
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
19 項	目	運動療法
	学習目標・ポイント	腰痛
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
20 項	目	運動療法
	学習目標・ポイント	変形性膝関節症
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
21 項	目	運動療法
	学習目標・ポイント	変形性膝関節症
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
22 項	目	運動療法
	学習目標・ポイント	変形性股関節症、THA術後
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、整形外科疾患の理学療法、IDストレッチング
23 項	目	動作分析
	学習目標・ポイント	動作分析概論、起き上がり動作、立ち上がり動作
	使用する材料	配布資料
	備考	臨床動作分析
24 項	目	動作分析
	学習目標・ポイント	歩行、特定課題分析(椅坐位)
	使用する材料	配布資料
	備考	臨床動作分析
25 項	目	動作分析
	学習目標・ポイント	特定課題分析(膝立ち、立位)
	使用する材料	配布資料
	備考	臨床動作分析
26 項	目	運動療法の実際
	学習目標・ポイント	脳血管障害
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、神経理学療法学
27 項	目	運動療法の実際
	学習目標・ポイント	脳血管障害
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、神経理学療法学
28 項	目	運動療法の実際
	学習目標・ポイント	パーキンソン症候群
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、神経理学療法学
29 項	目	運動療法の実際
	学習目標・ポイント	関節リウマチ
	使用する材料	配布資料
	備考	理学療法ハンドブック、神経理学療法学
30 項	目	運動療法の実際
	学習目標・ポイント	クリニカルリーズニング ケーススタディ(腰痛、五十肩、脳血管障害、パーキンソン症候群)
	使用する材料	配布資料
	備考	クリニカルリーズニング、神経理学療法学



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ-1(講義)
担 当 教 員	泉谷 泰行
科 目 名 ( 中 項 目 )	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	消化器・呼吸器・循環器疾患および日常の鍼灸臨床で遭遇しやすい頸肩腕痛・腰下肢痛・肩こりにおける西洋医学的病態について講義し、それらに關与する各症状に対する基本的な鍼灸治療の方法について学ぶ。
到 達 目 標	①各疾患の病態について理解し説明できるようになる。 ②西洋医学および東洋医学的な鍼灸治療の方法(基本)を理解し治療できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のおしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医専専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～現在に至る 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍  研究実績 ストレス反応に対する伝統医学・補完代替医療の併用効果の検討(1)(原著論文) 東洋療法学校協会学会誌 (0911-8071)36号 Page29-34(2013.02) マニュアル鍼刺激がラット骨格筋の血流量に及ぼす影響(第4報) Page216(2012.06) アデノシン受容体拮抗薬の影響(会議録) 全日本鍼灸学会学術大会抄録集 61回 常性乾癬に対する気診マスター・ナビを用いた気功治療の1症例(会議録/症例報告) 日本統合医療学会誌 3巻2号 Page109(2010.11)

1	項目	鍼灸の治効理論(鎮痛作用)
	学習目標・ポイント	鍼灸における鎮痛機序を理解し説明することができる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
2	項目	消化器機能に対する鍼灸治療①
	学習目標・ポイント	消化器疾患および消化運動機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
3	項目	消化器機能に対する鍼灸治療②
	学習目標・ポイント	消化器疾患および消化運動機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
4	項目	消化器機能に対する鍼灸治療③
	学習目標・ポイント	消化器疾患および消化運動機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
5	項目	呼吸器機能に対する鍼灸治療①
	学習目標・ポイント	呼吸器疾患および呼吸器機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
6	項目	呼吸器機能に対する鍼灸治療②
	学習目標・ポイント	呼吸器疾患および呼吸器機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
7	項目	呼吸器機能に対する鍼灸治療③
	学習目標・ポイント	呼吸器疾患および呼吸器機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
8	項目	循環器機能に対する鍼灸治療①
	学習目標・ポイント	循環器疾患および循環器機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
9	項目	循環器機能に対する鍼灸治療②
	学習目標・ポイント	循環器疾患および循環器機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
10	項目	循環器機能に対する鍼灸治療③
	学習目標・ポイント	循環器疾患および循環器機能に及ぼす作用について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
11	項目	頸肩腕痛に対する鍼灸治療①
	学習目標・ポイント	頸肩腕痛を呈する疾患について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
12	項目	頸肩腕痛に対する鍼灸治療②
	学習目標・ポイント	頸肩腕痛を呈する疾患について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
13	項目	腰痛・腰下肢痛に対する鍼灸治療①
	学習目標・ポイント	腰痛・腰下肢痛を呈する疾患について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
14	項目	腰痛・腰下肢痛に対する鍼灸治療②
	学習目標・ポイント	腰痛・腰下肢痛を呈する疾患について理解する。
	使用する材料	配布資料
	備考	
15	項目	肩こりに対する鍼灸治療
	学習目標・ポイント	肩こりに対する基本的な鍼灸治療について学ぶ。
	使用する材料	配布資料
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ-2(講義)
担 当 教 員	酒井 良和
科 目 名 ( 中 項 目 )	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	全身治療である経絡治療を客観的な指標で評価(点数化による)し、それらの総合点数により証を把握し治療することができる。
到 達 目 標	四診を理解・習得し、証決定からの治療ができる。また特定疾患に対する治療ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1.昭和53年9月から平成20年3月(定年退職)まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼・灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論(特に消化器系) ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ/Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当  実務上の業績 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 〔全ての事務関係(入学試験、入学式、卒業式、書類関係等) 処理 教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 〔教務全般の事務関係(試験、成績、シラバス、時間割り等) 処理。 治療所長〔鍼灸・柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整〕 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 研究実績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)56巻3号

1 項 目	総論1
学習目標・ポイント	診療の流れを習得する。
使用する材料	
備考	
2 項 目	総論2
学習目標・ポイント	症例からの診療の流れを習得する
使用する材料	
備考	
3 項 目	問診
学習目標・ポイント	問診表の使用法を習得する
使用する材料	
備考	
4 項 目	舌診1
学習目標・ポイント	舌診の内容を習得する
使用する材料	
備考	
5 項 目	舌診2
学習目標・ポイント	舌を観察(スケッチ)し、病態を習得する
使用する材料	
備考	
6 項 目	脈診1
学習目標・ポイント	脈診の内容を習得する
使用する材料	
備考	
7 項 目	脈診2
学習目標・ポイント	六部定位脈診を習得する
使用する材料	
備考	
8 項 目	脈診3
学習目標・ポイント	六部定位脈診からの脈証を考察する(チェック)
使用する材料	
備考	
9 項 目	腹診
学習目標・ポイント	腹診の診方を習得する
使用する材料	
備考	
10 項 目	背候診
学習目標・ポイント	背候診の診方を習得する
使用する材料	
備考	
11 項 目	診察の診方1
学習目標・ポイント	問診・舌診・脈診・腹診・背候診を習得する
使用する材料	
備考	
12 項 目	診察の診方2
学習目標・ポイント	問診・舌診・脈診・腹診・背候診を習得する
使用する材料	
備考	
13 項 目	切経
学習目標・ポイント	撮診・原穴診の診方を習得する
使用する材料	
備考	
14 項 目	証決定
学習目標・ポイント	点数からの証決定を習得する
使用する材料	
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	問診・舌診・脈診・腹診・背候診を評価する
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅰ(実技)
担 当 教 員	酒井 良和
科 目 名 ( 中 項 目 )	はりきゅう臨床学Ⅰ
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	全身治療である経絡治療を客観的な指標で評価(点数化による)し、それらの総合点数により証を把握し治療することができる。
到 達 目 標	四診を理解・習得し、証決定からの治療ができる。また特定疾患に対する治療ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1.昭和53年9月から平成20年3月(定年退職)まで明治東洋医学院専門学校において 鍼灸理論・鍼・灸実技・東洋医学概論・臨床医学各論(特に消化器系) ・臨床実習・治療所実習を担当 2.平成20年4月から明治東洋医学院専門学校非常勤講師として 応用実技・経絡治療実技を担当 3.平成22年4月から履正社医療スポーツ専門学校非常勤講師として応用実技を担当 4.平成20年4月から森ノ宮医療学園専門学校非常勤講師として 東洋医学概論・主要症候に対する実技および平成30年4月から 応用鍼灸実技Ⅱを担当 5.平成25年4月から平成医療学園専門学校非常勤講師として応用実技Ⅰ/Ⅲ および令和2年4月からはりきゅう臨床学Ⅰを担当  実務上の業績 1.職務の内容 昭和50年から平成20年までの間。庶務課長・事務次長 〔全ての事務関係(入学試験、入学式、卒業式、書類関係等) 処理 教務主任・教務課長・教務次長・教務部長 〔教務全般の事務関係(試験、成績、シラバス、時間割り等) 処理。 治療所長〔鍼灸・柔整附属治療所の患者管理・治療に関する処理・調整〕 2.臨床経験 昭和53年から平成20年3月まで明治東洋医学院専門学校附属治療所で 平成20年4月以降はさかい鍼灸院で治療に携わっています。 研究実績 証の客観化 問診情報のクラスター分析による蔵府の検討(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 Page475(2010.05) 耳鳴患者の問診情報の分析(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)60巻3号 教員養成学科における臨床教育実習の導入について(会議録) 全日本鍼灸学会雑誌 (0285-9955)56巻3号

1 項 目	選穴
学習目標・ポイント	証に対する治療穴を習得する
使用する材料	
備考	
2 項 目	デモ
学習目標・ポイント	実際の診療のながれを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
3 項 目	診療1-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
4 項 目	診療1-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
5 項 目	診療2-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
6 項 目	診療2-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
7 項 目	診療3-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
8 項 目	診療3-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療までを習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	
9 項 目	診療4-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびうつ病の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 灸点紙 2枚/人
備考	
10 項 目	診療4-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびうつ病の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 灸点紙 2枚/人
備考	
11 項 目	診療5-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療および不妊症の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 綿花灸
備考	
12 項 目	診療5-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療および不妊症の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 5本/人 綿花灸
備考	
13 項 目	診療6-1
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびむずむず脚症候群の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 10本/人
備考	
14 項 目	診療6-2
学習目標・ポイント	診察からの証の把握・治療およびむずむず脚症候群の治療を習得する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 10本/人
備考	
15 項 目	評価
学習目標・ポイント	診察・証決定・治療を評価する
使用する材料	DS鍼 40mm16号 4本/人
備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ-2(講義)
担 当 教 員	佐原 俊作
科 目 名 ( 中 項 目 )	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床で遭遇する疾患について病態及び治療法を学ぶ。
到 達 目 標	①各疾患の病態について理解し説明できるようになる。 ②西洋医学的および東洋医学的な鍼灸治療の方法(基本)を理解する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅲ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育業績】 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 2017年4月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 2021年4月～ :平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当  【実務業績】 2011年4月～2013年3月:明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月:京都府立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術  【研究実績】 2012年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2012年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2012年 日本線維筋痛症学会学術集会 一般発表 2013年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2015年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・マッサージ師のための痛み学習システム」の構築 研究班員 2016年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・あんまマッサージ師」のための痛み学習の習得状況に関する評価システム」の開発 研究班員 2017年 東洋療法試験財団研究費 鍼灸師・マッサージ師に必要な痛み治療の技術習得のためのコンテンツ開発 研究班員

1 項	目	導入
学習目標・ポイント		鍼灸臨床でよく遭遇する疾患について理解する。
使用する材料		
備考		
2 項	目	腰痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		腰痛に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
3 項	目	便秘に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		便秘に対する鍼灸治療について理解する
使用する材料		
備考		
4 項	目	頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
5 項	目	めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
6 項	目	頭痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		頭痛に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
7 項	目	月経困難症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		月経困難症に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
8 項	目	変形性膝関節症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		変形性膝関節症に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
9 項	目	不妊症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		不妊症に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
10 項	目	つわり・逆子に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		つわり・逆子に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
11 項	目	膠原病に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		膠原病に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
12 項	目	頻尿に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		頻尿に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
13 項	目	疲労・倦怠感に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント		疲労・倦怠感に対する鍼灸治療について理解する。
使用する材料		
備考		
14 項	目	緩和ケアにおける鍼灸治療の役割
学習目標・ポイント		緩和ケアにおける鍼灸治療の役割について理解する。
使用する材料		
備考		
15 項	目	授業内評価
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう臨床学Ⅱ(実技)
担 当 教 員	佐原 俊作
科 目 名 ( 中 項 目 )	はりきゅう臨床学Ⅱ
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	屋間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸臨床学Ⅱ(講義)で学んだ内容について実技を行う。
到 達 目 標	①各疾患の病態について理解し説明できるようになる。 ②西洋医学的および東洋医学的な鍼灸治療の方法(基本)を理解し治療できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 ①出席日数 ②実技試験 を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	【教育業績】 2013年4月～2017年3月:京都市立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 2017年4月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 2021年4月～ :平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当  【実務業績】 2011年4月～2013年3月:明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月:京都市立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術  【研究実績】 2012年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2012年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2012年 日本線維筋痛症学会学術集会 一般発表 2013年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2015年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・マッサージ師のための痛み学習システム」の構築 研究班員 2016年 東洋療法試験財団研究費 「鍼灸師・あんまマッサージ師」のための痛み学習の習得状況に関する評価システム」の開発 研究班員 2017年 東洋療法試験財団研究費 鍼灸師・マッサージ師に必要な痛み治療の技術習得のためのコンテンツ開発 研究班員

1 項 目	導入
学習目標・ポイント	鍼灸臨床でよく遭遇する疾患について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
2 項 目	腰痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	腰痛に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
3 項 目	便秘に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	便秘に対する鍼灸治療について理解し治療できる
使用する材料	
備考	
4 項 目	頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頸肩部痛(肩こり)に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
5 項 目	めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	めまい・耳鳴りに対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
6 項 目	頭痛に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頭痛に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
7 項 目	月経困難症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	月経困難症に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
8 項 目	変形性膝関節症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	変形性膝関節症に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
9 項 目	不妊症に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	不妊症に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
10 項 目	つわり・逆子に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	つわり・逆子に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
11 項 目	膠原病に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	膠原病に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
12 項 目	頻尿に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	頻尿に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
13 項 目	疲労・倦怠感に対する鍼灸治療
学習目標・ポイント	疲労・倦怠感に対する鍼灸治療について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
14 項 目	緩和ケアにおける鍼灸治療の役割
学習目標・ポイント	緩和ケアにおける鍼灸治療の役割について理解し治療できる。
使用する材料	
備考	
15 項 目	授業内評価
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう応用学(講義)
担 当 教 員	松元 隆司
科 目 名 ( 中 項 目 )	はりきゅう応用学
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 1980～2001 阪急ブレイブス・オリックスブルーウェーブでトレーナとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学 I マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

1 項	目	コンディショニングの意味
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
2 項	目	チームストレナーの役割
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
3 項	目	障害予防のコンディショニング
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
4 項	目	投球障害について
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
5 項	目	コンディショニングの実際
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
6 項	目	足底からの運動連鎖
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
7 項	目	足アーチの重要性
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
8 項	目	下腿から膝
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
9 項	目	膝から大腿
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
10 項	目	大腿と股関節と腰椎
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
11 項	目	体幹エクササイズ的重要性
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
12 項	目	腸腰筋と胸腰腱膜
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
13 項	目	肩甲骨の動きと姿勢
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
14 項	目	前方頭位(肩こり)の考え方
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	
15 項	目	腰痛肩こりの運動連鎖
学	習	目標・ポイント
使	用	する材料
備	考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅう応用学(実技)
担 当 教 員	松元 隆司
科 目 名 ( 中 項 目 )	はりきゅう応用学
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	屋間部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績 1980～2001 阪急ブレーブス・オリックスブルーウェーブでトレーナーとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学 I マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

1 項 目	現場に於いての実技の種類
学習目標・ポイント	マッサージ、ストレッチ、筋力トレーニングの考え方
使用する材料	
備考	
2 項 目	コンディショニングとしてのマッサージ
学習目標・ポイント	マッサージの基本手技の実施
使用する材料	
備考	
3 項 目	軽擦、揉捏、圧迫の実技
学習目標・ポイント	それぞれ手技のメリットを解説
使用する材料	
備考	
4 項 目	揉捏の収類(拇指・二指・四指・手根)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
5 項 目	各部位・足底のマッサージ
学習目標・ポイント	足底の機能解剖をふまえた手技
使用する材料	
備考	
6 項 目	下腿～膝. マッサージ、ストレッチ、エクササイズ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
7 項 目	膝から大腿. マッサージ、ストレッチ、エクササイズ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
8 項 目	大腿から骨盤(大腿四頭筋、ハムスト、特に大腿筋膜張筋マッサージ)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
9 項 目	殿筋(身体的には重要な部分であり触診含めて重要、マッサージ)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
10 項 目	殿筋のストレッチ、エクササイズ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
11 項 目	体幹トレーニング
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
12 項 目	腰部のマッサージ
学習目標・ポイント	大殿筋弱化的改善
使用する材料	
備考	
13 項 目	肩甲骨のマッサージとモビライゼーション
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
14 項 目	頸部と肩部のマッサージ、ストレッチ
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
15 項 目	全身マッサージの復習
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	共通臨床実習①
担 当 教 員	内野 容子
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床実習
単 位 数 ( 時 間 数 )	6(270) うち120時間を内野担当
配 当 年 次	1年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。  【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。  【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179  鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システムティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項 目	1~60 施術所における実習を行う。
学習目標・ポイント	教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	
2 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
3 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
4 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
5 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
6 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
7 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
8 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
9 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
10 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
11 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
12 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
13 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
14 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
15 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	共通臨床実習②
担 当 教 員	久保 益秀
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床実習
単 位 数 ( 時 間 数 )	6(270) うち150時間を久保担当
配 当 年 次	1年次
部	屋間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成31年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講 鍼灸臨床実技を担当  【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務  【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性につ 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表

1 項 目	1~76
学習目標・ポイント	施術所における実習を行う。 教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	
2 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
3 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
4 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
5 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
6 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
7 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
8 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
9 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
10 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
11 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
12 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
13 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
14 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
15 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はり、きゅう臨床実習
担 当 教 員	内野 容子
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床実習
単 位 数 ( 時 間 数 )	4(180)
配 当 年 次	1年次
部	屋間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下で、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	必要出席数【「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】】に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。  【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。  【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179  鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項 目	1~90
学習目標・ポイント	施術所における実習を行う。 教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	
2 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
3 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
4 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
5 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
6 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
7 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
8 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
9 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
10 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
11 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
12 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
13 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
14 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
15 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	原典(古典)閲読(講義)
担 当 教 員	木場 宜子
科 目 名 ( 中 項 目 )	人文科学
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	東洋医学概論で習ったことで疑問に感じたことを、文献を調べることにより明らかにする方法を身につける。
到 達 目 標	文献についての基礎知識を学ぶ。 歴史、書誌学、句読など
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゆう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゆう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務  H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、H31年現在に至るまで、子どもから高齢者まで、はりや灸で地域の健康に役立つことは何かを考えながら臨床を続けている。  H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、小さな学会で少し発表する程度であるが、自身の担当科目である灸法について知識を深めるために参加した。

1 項	目	文献の基礎① 歴史
学習目標・ポイント		文献のために必要な歴史的背景を学ぶ
使用する材料		
備考		
2 項	目	文献基礎② 書誌学
学習目標・ポイント		書誌学について学ぶ
使用する材料		
備考		
3 項	目	文献基礎③ 書誌学
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
4 項	目	文献基礎④ 句読
学習目標・ポイント		句読について学ぶ
使用する材料		
備考		
5 項	目	文献基礎⑤ 句読
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
6 項	目	古典講読① 『素問』
学習目標・ポイント		『素問』を読む
使用する材料		
備考		
7 項	目	古典講読② 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
8 項	目	古典講読③ 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
9 項	目	古典講読④ 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
10 項	目	古典講読⑤ 『素問』
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
11 項	目	古典講読⑥
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
12 項	目	古典講読⑦
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
13 項	目	古典講読⑧
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
14 項	目	古典講読⑨
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
15 項	目	古典講読⑩
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	外国語(演習)
担 当 教 員	澤山 明宏
科 目 名(中 項 目)	人文科学
単 位 数(時 間 数)	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要・目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学英語と英語コミュニケーションの二部構成の授業とし、医学英語と英会話の授業を交互に行います。</li> <li>・医学英語: 英語の医学論文の読解力養成を目的とし、使用テキスト以外に、適宜、医学論文・記事の抄読を行います。</li> <li>・英会話: 英語によるコミュニケーション力の養成を目的とし、テキストと会話演習を中心に演習を行います。</li> </ul>
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 英語の医学・医療関連の論文・記事を正確に読解できる (そのための基本文法、語彙を身につける)</li> <li>(2) 状況に応じた適切なコミュニケーションを行える (そのために必要な英語表現力を身につける)</li> </ul>
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	<p>【全科目共通事項】</p> <p>必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 毎回の課題への対応: 40%と評価試験(授業内評価 第27・28講に実施予定): 60%で合せて100%の評価を行う。</p>
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受 講 者 へ の メ ッ セ ー ジ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の一方的な説明で進める授業ではありません。毎回、受講者には必ず発声を求めます。</li> <li>・英語上達には秘訣があります。まずは正確・丁寧な日本語を心がけてください。</li> </ul>
教 育 ・ 実 務 業 績	<p>【実務】</p> <p>1975: 三菱商事(株)入社 1978-80年: 三菱商事(株)ドイツ語研修生(主にフライブルク大学経済学部在籍) 1987-93年: ドイツ三菱商事勤務。ドイツを基点に全ヨーロッパを対象とした消費財取引を担当。 2001-05年: 財団法人2005年日本国際博覧会協会において、ヨーロッパ担当リエゾンオフィサーとしヨーロッパ各国との愛知万博(2005年)参加に関わる交渉を担当。 * 上記以外は通算10年、米国との取引を担当。</p> <p>【教育】</p> <p>2009~2015年: 神戸夙川学院観光文化学部教授 ・大使館・観光局リレー講義: 国際社会論の講義と、選択した国の大使・外交官、観光局トップによる講演とディスカッションで構成。受講生の異文化理解を促した。 ・西ヨーロッパ地域研究・東ヨーロッパ地域研究 東西ヨーロッパの政治・経済・文化についての講義。</p> <p>2016~2020年: 兵庫大学現代ビジネス学部教授 ・英語: 1年生対象の会話力養成講座を担当。 ・ビジネス英会話: 3年生以上を対象に、ビジネスに使用する英語表現演習を担当。</p> <p>2020年~: 宝塚医療大学保健医療学部柔道整復学科教授 担当授業: 英語 I・II (1年生対象)、医学英語(2年生以上)、英会話(1年生以上)</p>

1 項 目	医学英語1 オリエンテーション
学習目標・ポイント	医学英語の特徴、人体概観
使用する材料	清水雅子著「医療従事者のための医学英語入門」(講談社・2011・ISBN-13: 978-4061556157)Chapter1 以下「医学英語入門」と略記。必要箇所を事前に配布。
備考	
2 項 目	英会話1 オリエンテーション
学習目標・ポイント	英語による自己紹介を学ぶ
使用する材料	関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考	
3 項 目	医学英語2 骨格系
学習目標・ポイント	骨格系に関わる英語表現
使用する材料	「医学英語入門」Chapter2
備考	
4 項 目	英会話2 コミュニケーションとは何か？
学習目標・ポイント	Casual English vs Formal English
使用する材料	関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考	
5 項 目	医学英語3 筋肉系
学習目標・ポイント	筋肉系に関わる英語表現
使用する材料	「医学英語入門」Chapter3
備考	
6 項 目	英会話3 Mail Communication(1)
学習目標・ポイント	英文メールの基本
使用する材料	関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考	
7 項 目	医学英語4 循環系
学習目標・ポイント	循環系に関わる英語表現
使用する材料	「医学英語入門」Chapter4
備考	
8 項 目	英会話4 Mail Communication(2)
学習目標・ポイント	英文メールの基本
使用する材料	関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考	
9 項 目	医学英語5 レビュー(1)
学習目標・ポイント	第4回までの復習
使用する材料	「医学英語入門」+テキスト以外の論文・記事(授業において事前配布)
備考	
10 項 目	英会話5 Telephone Communication
学習目標・ポイント	電話によるコミュニケーションの基本と問題点
使用する材料	関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考	
11 項 目	医学英語6 リンパ系
学習目標・ポイント	リンパ系に関わる英語表現
使用する材料	「医学英語入門」Chapter5
備考	
12 項 目	英会話6 Brainstorming
学習目標・ポイント	アイデアをいかに伝えるか？
使用する材料	関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考	
13 項 目	医学英語7 呼吸器系
学習目標・ポイント	呼吸器系に関わる英語表現
使用する材料	「医学英語入門」Chapter6
備考	
14 項 目	英会話7 Discussion and Meeting
学習目標・ポイント	自己主張から協調へ
使用する材料	関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考	
15 項 目	医学英語8 消化器系
学習目標・ポイント	消化器系に関する英語表現
使用する材料	「医学英語入門」Chapter7
備考	



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	外国語(演習)
担 当 教 員	澤山 明宏
科 目 名 ( 中 項 目 )	人文科学
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学英語と英語コミュニケーションの二部構成の授業とし、医学英語と英会話の授業を交互に行います。</li> <li>・医学英語: 英語の医学論文の読解力養成を目的とし、使用テキスト以外に、適宜、医学論文・記事の抄読を行います。</li> <li>・英会話: 英語によるコミュニケーション力の養成を目的とし、テキストと会話演習を中心に演習を行います。</li> </ul>
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 英語の医学・医療関連の論文・記事を正確に読解できる (そのための基本文法、語彙を身につける)</li> <li>(2) 状況に応じた適切なコミュニケーションを行える (そのために必要な英語表現力を身につける)</li> </ul>
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】</p> <p>必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 毎回の課題への対応: 40%と評価試験(授業内評価 第27・28講に実施予定): 60%で合せて100%の評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の一方的な説明で進める授業ではありません。毎回、受講者には必ず発声を求めます。</li> <li>・英語上達には秘訣があります。まずは正確・丁寧な日本語を心がけてください。</li> </ul>
教育・実務業績	<p>【実務】</p> <p>1975: 三菱商事(株)入社 1978-80年: 三菱商事(株)ドイツ語研修生(主にフライブルク大学経済学部在籍) 1987-93年: ドイツ三菱商事勤務。ドイツを基点に全ヨーロッパを対象とした消費財取引を担当。 2001-05年: 財団法人2005年日本国際博覧会協会において、ヨーロッパ担当リエゾンオフィサーとしヨーロッパ各国との愛知万博(2005年)参加に関わる交渉を担当。 * 上記以外は通算10年、米国との取引を担当。</p> <p>【教育】</p> <p>2009~2015年: 神戸夙川学院観光文化学部教授 ・大使館・観光局リレー講義: 国際社会論の講義と、選択した国の大使・外交官、観光局トップによる講演とディスカッションで構成。受講生の異文化理解を促した。 ・西ヨーロッパ地域研究・東ヨーロッパ地域研究 東西ヨーロッパの政治・経済・文化についての講義。</p> <p>2016~20年: 兵庫大学現代ビジネス学部教授 ・英語: 1年生対象の会話力養成講座を担当。 ・ビジネス英会話: 3年生以上を対象に、ビジネスに使用する英語表現演習を担当。</p> <p>2020年~: 宝塚医療大学保健医療学部柔道整復学科教授 担当授業: 英語 I・II (1年生対象)、医学英語(2年生以上)、英会話(1年生以上)</p>

16 項	目	英会話8 Critical Situation(1)
学習目標・ポイント		状況に応じた適切な対応
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		
17 項	目	医学英語9 泌尿器系
学習目標・ポイント		泌尿器系に関する英語表現
使用する材料		「医学英語入門」Chapter8
備考		
18 項	目	英会話9 Critical Situation(2)
学習目標・ポイント		状況に応じた適切な対応
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		
19 項	目	医学英語10 レビュー(2)
学習目標・ポイント		第4回までの復習
使用する材料		「医学英語入門」+テキスト以外の論文・記事(授業において事前配布)
備考		
20 項	目	英会話10 Cultural Understanding(1)
学習目標・ポイント		相互理解の基本
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		
21 項	目	医学英語11
学習目標・ポイント		神経系に関する英語表現
使用する材料		「医学英語入門」Chapter9
備考		
22 項	目	英会話11 Cultural Understanding(2)
学習目標・ポイント		相互理解の基本
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		
23 項	目	医学英語12 感覚器官
学習目標・ポイント		感覚器官に関する英語表現
使用する材料		「医学英語入門」Chapter10
備考		
24 項	目	英会話12 Cultural Understanding(3)
学習目標・ポイント		情報収集
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		
25 項	目	医学英語13 分泌系・生殖系・老化
学習目標・ポイント		分泌系・生殖系に関する英語表現
使用する材料		「医学英語入門」Chapter11+12
備考		
26 項	目	英会話13 Critical Thinking
学習目標・ポイント		論理的に話すためのツール
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		
27 項	目	医学英語14 レビュー3・評価試験
学習目標・ポイント		これまでの学習内容の総整理
使用する材料		これまで配布・使用した全教材
備考		
28 項	目	英会話14 評価試験
学習目標・ポイント		これまでの学習内容の総活用
使用する材料		これまで配布・使用した全教材
備考		
29 項	目	医学英語15 評価試験のフィードバック+補足講義
学習目標・ポイント		医学英語の知識のメンテナンス
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		
30 項	目	英会話15 評価試験のフィードバック+補足講義
学習目標・ポイント		コミュニケーション能力とは何か?
使用する材料		関連教材は必要に応じて事前に配布します。
備考		

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育学概論(講義)
担 当 教 員	戸田和樹
科 目 名 ( 中 項 目 )	教育と教員
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(15)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	教育学概論で学ぶ教育原理は、教育の目的・理論から学習指導要領、はたまた同和教育、生涯教育と広範囲に及びます。教職教養全体を総括する重要な位置にあるこの学習内容は、教員を目指す人にとっては必ず修得しなければならない学習内容です。
到 達 目 標	教育の目標や教育の現状と未来への方向性を多角的な観点から概観することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。  試験(レポート)70%、平常授業10%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学 I・II・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 詩人・童話作家 第20回新美南吉童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞 「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきつぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねつどう」 など

1 項 目	シラバスを通し、教育学概論の学習の見通しを持つことができる
学習目標・ポイント	『教育』への印象・思いを話し合います。
使用する材料	シラバス等配布予定
備考	
2 項 目	教育原理の全体像を把握することができる
学習目標・ポイント	養育基本法や教育の意義・目的などを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
3 項 目	人格形成と家庭教育、学校教育、社会教育について理解することができる。(1)生徒指導の
学習目標・ポイント	鍼灸医療教育における生徒指導について、そのあり方を検討する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
4 項 目	(2)学習指導に生きる指導原理(「個を生かす」の視点と「詰め込み教育」
学習目標・ポイント	「個」に応じるとともに、「個」を生かす指導のあり方を模索することができる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
5 項 目	(3)学ぶ意味と「人間力」とは何かを考えることができる。
学習目標・ポイント	「人間力」を育てるために、どのような取り組みが必要かを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
6 項 目	(4)「大人の姿を見せる」ことの意義を考えることができる。
学習目標・ポイント	鍼灸医療教育の中で「大人の姿を見せる」ということは、どういうことかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
7 項 目	(5)学力の捉え方を考えることができる。
学習目標・ポイント	生徒の学力低下の原因・学力獲得を疎外しているもの、必要とされる学力について話し合
使用する材料	資料プリント配布
備考	
8 項 目	日本の鍼灸教育の歴史の変遷について理解することができる。
学習目標・ポイント	戦後の鍼灸教育の変遷を理解すると共に、今後の鍼灸教育の課題について話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
9 項 目	人権教育の改善・充実の基本的考え方を理解することができる。
学習目標・ポイント	「人権」とは何かを明らかにしながら、なぜ人権教育が必要なのかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
10 項 目	ジェンダーと性差別について理解することができる。
学習目標・ポイント	日本において、どんなところに性差別が残っているか、教育の現場ではどうかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
11 項 目	マイノリティ教育について理解することができる。
学習目標・ポイント	自分の教室に「マイノリティ」人材がいた時のことを想定し、具体的に考え話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
12 項 目	特別支援教育について理解することができる。
学習目標・ポイント	「特別な支援を要する教育」とは、どんな教育かを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
13 項 目	インクルーシブ教育について理解することができる。
学習目標・ポイント	「障害による差別をなくす」とは、どういうことかを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
14 項 目	現代教育の課題についての認識を深めることができる。
学習目標・ポイント	子どもの貧困・不登校・引きこもり・自殺・ニートについて、教育者としてできることは何かを
使用する材料	資料プリント配布
備考	
15 項 目	レポート作成
学習目標・ポイント	教育学概論のまとめとして、課題に応じたレポートを作成する。
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育心理学(講義)
担 当 教 員	岡島 泰三
科 目 名 ( 中 項 目 )	教育と教員
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教育心理学を学ぶことで、学び方の基礎を習得する。 また、学生の集団や学生との関係の取り方を学ぶ。
到 達 目 標	学生の学びに関する多様な方法を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2006年4月～現在に至る 帝塚山学院大学において 心理学、児童心理学を担当する  2010年4月～現在に至る 関西学院大学において 心理科学基礎実習を担当する  2019年4月～現在に至る 宝塚医療大学において 心理学を担当する  2005年4月～2019年3月 大阪医専において 臨床心理学を担当する  2、実務上の業績 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務

1 項	目	教育心理学とは？
学習目標・ポイント		教育心理学の基礎を学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
2 項	目	教育心理学とは？
学習目標・ポイント		自己紹介を通じて現在の話し方について知る。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
3 項	目	学習
学習目標・ポイント		古典的条件づけについて学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
4 項	目	学習
学習目標・ポイント		オペラント条件づけについて学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
5 項	目	学習
学習目標・ポイント		認知学習について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
6 項	目	学習
学習目標・ポイント		運動学習について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
7 項	目	動機づけ
学習目標・ポイント		内発的動機づけについて学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
8 項	目	動機づけ
学習目標・ポイント		外発的動機づけについて学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
9 項	目	知覚
学習目標・ポイント		知覚について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
10 項	目	知覚
学習目標・ポイント		知覚について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
11 項	目	認知
学習目標・ポイント		記憶について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
12 項	目	認知
学習目標・ポイント		記憶について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
13 項	目	認知
学習目標・ポイント		記憶について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
14 項	目	認知
学習目標・ポイント		思考について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
15 項	目	認知
学習目標・ポイント		注意について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育心理学(講義)
担 当 教 員	岡島 泰三
科 目 名 ( 中 項 目 )	教育と教員
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教育心理学を学ぶことで、学び方の基礎を習得する。 また、学生の集団や学生との関係の取り方を学ぶ。
到 達 目 標	学生の学びに関する多様な方法を習得する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2006年4月～現在に至る 帝塚山学院大学において 心理学、児童心理学を担当する  2010年4月～現在に至る 関西学院大学において 心理科学基礎実習を担当する  2019年4月～現在に至る 宝塚医療大学において 心理学を担当する  2005年4月～2019年3月 大阪医専において 臨床心理学を担当する  2、実務上の業績 2005年4月～現在に至る 四條畷市保健センターにおいて発達相談員として勤務

16 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		対人認知について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
17 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		対人認知について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
18 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		自己について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
19 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		自己について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
20 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		集団について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
21 項	目	社会心理学
学習目標・ポイント		集団について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
22 項	目	感情
学習目標・ポイント		感情について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
23 項	目	感情
学習目標・ポイント		感情について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
24 項	目	性格
学習目標・ポイント		性格について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
25 項	目	知能
学習目標・ポイント		知能について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
26 項	目	臨床
学習目標・ポイント		障がい者について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
27 項	目	臨床
学習目標・ポイント		障がい者について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
28 項	目	臨床
学習目標・ポイント		精神疾患について学ぶ。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
29 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		模擬授業を行う。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		
30 項	目	まとめ
学習目標・ポイント		模擬授業を行う。
使用する材料		プリント PC DVD
備考		



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育方法(講義)
担 当 教 員	戸田和樹
科 目 名 ( 中 項 目 )	教育と教員
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	①教育人としての資質・素養について理解する ②教官の実践指導の実際などを通し、さまざまな教育技法を知り、実践的授業力を身につけることができる。
到 達 目 標	授業における教育技法および個に応じた教育のあり方、人間性を育う教育について考えることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。  試験(レポート)70%、平常授業10%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回到説明する。
教育・実務業績	2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学 I・II・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 詩人・童話作家 第20回新美南吉童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞 「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきつぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねつどう」 など

1 項 目	シラバスを通し、教育方法学Ⅰの学習の見通しを持つことができる。
学習目標・ポイント	教師として最低限持つ必要がある教育技能の習得を目指す。実際に、どのような教育技能を駆使して授業および講義を行っているかを話し合う。
使用する材料	シラバス等配布予定
備考	
2 項 目	教師の資質・素養について、どのようなことが期待されているかを考えることができる。
学習目標・ポイント	教師としてどのような資質・素養が要求されているかを考える。生徒との初めての出会いを
使用する材料	資料プリント配布
備考	
3 項 目	講義と授業との違いを理解することができる。
学習目標・ポイント	教師主体の講義形式と生徒主体の授業形式のメリット・デメリットを考える。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
4 項 目	学習指導案の書き方を知ることができる
学習目標・ポイント	教材観・指導観・本時の目標・展開例・評価・板書例などの基本的な書き方を知ることができ
使用する材料	資料プリント配布
備考	
5 項 目	授業において、大切にしたいのは「分かる」ことや「楽しさ」なのかを話し合うことができる。
学習目標・ポイント	生徒側からの「学ぶ楽しさ」の獲得についてそれぞれの考えを話し合う。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
6 項 目	「話す」「聞く」の技能について、実践を通して理解することができる。
学習目標・ポイント	落語の「小噺」を例に取り上げ、言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションについて
使用する材料	資料プリント配布
備考	
7 項 目	「発問」と「示唆」および「教師のこぼし」について、授業場面を想定し話し合うことができる。
学習目標・ポイント	「発問」中心の授業を行うのか、「示唆」中心の授業を行うのかを考える。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
8 項 目	授業に対する批評力を身につけることができる
学習目標・ポイント	教師の師範授業を参観し、肯定的批評と批判的批評の在り方を考える
使用する材料	資料プリント配布
備考	
9 項 目	「板書」の仕方を考えることができる。
学習目標・ポイント	も
使用する材料	資料プリント配布
備考	
10 項 目	教材プリントの作り方について、簡単な実践を行い、できたプリントをもとに話し合うことがで
学習目標・ポイント	教科書「鍼の種類と使用の仕方」についての配布プリントを作成する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
11 項 目	プリントを核とした授業展開を考えることができる
学習目標・ポイント	授業展開に基づいたプリントとまとめのプリントのメリット・デメリットを考える。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
12 項 目	オンライン授業と対面授業について考えることができる。
学習目標・ポイント	それぞれの授業形態のメリット・デメリットを考えることができる。
使用する材料	実践報告資料
備考	
13 項 目	学習指導案の記述の仕方を知るとともに、自分の模擬授業教材を確定することができる。
学習目標・ポイント	学習指導案の中の「教材観」「指導観」「展開例」「板書計画」の記述の仕方を知る。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
14 項 目	代表1名による指定模擬授業を批評することができる
学習目標・ポイント	教材観及び指導観にそった授業の在り方を模索する
使用する材料	簡単な学習指導案
備考	
15 項 目	レポート作成
学習目標・ポイント	教育法Ⅰに関わる課題を通して、レポートを記述する。
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育方法(演習)
担 当 教 員	戸田和樹
科 目 名 ( 中 項 目 )	教育と教員
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	①アクティブ・ラーニングとはどのような学習方法かを知る。②鍼灸医療教育でアクティブ・ラーニングを取り入れる必然性を理解し、実践的授業力を身につける。
到 達 目 標	教育実践を研究する立場として、授業計画・実践・実践報告を行うことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 試験(レポート)70%、平常授業10%、出席20%で評価する。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	2016年度より大阪医療技術学園東洋医療技術教員養成科にて、教育学概論・教育法法学 I・II・教育実習を担当する。 1976年京都市立小学校。1987年京都教育大学附属京都小学校。2014年京都教育大学指導教諭。2016年京都教育大学附属京都小中学校非常勤講師。在任中、実践教育方法学の研究を行い、全国発表(全国小学校国語科研究会・大村はま記念研究会など)・大阪国語教育者協議会委員、京都国語の会主催 2014年和歌山県新宮市学力向上推進検討委員会会長 詩人・童話作家 第20回新美南吉童話賞最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)「かげつなぎ」 第2回徒然草エッセイ大賞 「人間教師への旅立ち」 キッズエクスプレス21童話コンテスト文部科学大臣賞「夏のきっぷ」 第54回詩人会議新人賞「かくれてへんかー」 第3回ふう太の杜 常田富士夫文学賞「雪の馬」 28回岐阜県文芸祭児童文学部門文芸大賞「白いきつねつどう」 など

1 項 目	シラバスを通し、教育方法学Ⅱの学習の見通しを持つことができる。
学習目標・ポイント	アクティブ・ラーニングとはどのような学習活動かを知るとともに、それを身につけるためにはどのような学習を行ったらよいかを話し合う。
使用する材料	シラバス等配布予定
備考	
2 項 目	アクティブ・ラーニングを核とした教官授業を参観する。
学習目標・ポイント	思考活動を通しての話し合い活動から深い学び(認識)に導く学習活動であることを知る。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
3 項 目	アクティブ・ラーニングが、なぜ必要とされるかを考えることができる。
学習目標・ポイント	1. 目標の二重性 2. 生徒主体 3. 活動中心 4. 認識の深化・拡充 5. 楽しさ優先 などの条件を満たす学習活動の必要性について話し合う。(思考力・表現力の
使用する材料	資料プリント配布
備考	
4 項 目	発想の転換を図る授業のあり方を考える。
学習目標・ポイント	鍼灸医療を題材にして絵本を作ってみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
5 項 目	アクティブ・ラーニングを行った時の授業の終わらせ方を考えることができる。
学習目標・ポイント	学習のまとめとして、何を行ったらよいかを考えてみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
6 項 目	模擬授業①②(30分実践と15分話し合い)
学習目標・ポイント	実践を通して、個人として課題を見つけることができる。
使用する材料	学習指導案①②
備考	
7 項 目	模擬授業③④(30分実践と15分話し合い)
学習目標・ポイント	実践を通して、個人としての課題を見つけることができる。
使用する材料	学習指導案③④
備考	
8 項 目	思考力を育成する大事さについて考えることができる。
学習目標・ポイント	なぜ思考力が必要とされるか、思考力を刺激する授業とはどのようなものかを想像してみ
使用する材料	
備考	
9 項 目	人間性および感性が大事にされる理由を考えることができる。
学習目標・ポイント	教育現場で、感性および人間性にふれる授業とは、どのような授業かを想像してみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
10 項 目	PDCAサイクル C(評価)における思考力をテストを作成する。
学習目標・ポイント	灸の出題範囲を与え、思考力をテストする問題を作成してみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
11 項 目	実践報告①(60分報告 30分話し合い)教育実習実践授業を素材にする
学習目標・ポイント	灸の出題範囲を与え、思考力をテストする問題を作成してみる。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
12 項 目	実践報告②(60分報告 30分話し合い)教育実習実践授業を素材にする
学習目標・ポイント	自己の提案したい内容について報告する。
使用する材料	実践報告資料
備考	
13 項 目	実践報告③(報告60分 話し合い30分)教育実習実践授業を素材にする。
学習目標・ポイント	自己の提案したい内容について報告する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
14 項 目	実践報告④(報告60分 話し合い30分)教育実習実践授業を素材にする。
学習目標・ポイント	自己の提案したい内容について報告する。
使用する材料	資料プリント配布
備考	
15 項 目	レポート作成
学習目標・ポイント	教育法法学Ⅱに関わる課題を通して、レポートを記述する。
使用する材料	
備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育実習
担 当 教 員	内野 容子
科 目 名 ( 中 項 目 )	教育と教員
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	各教職科目及び専門・専門基礎科目で履修し修得した知識や技術を基礎・基本にして、実際の専門学校現場で教育実習を行う。そのための事前指導また専門学校現場で実践的な指導を受ける。 また、学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を学び、工夫改善する態度を培わせる。更に教育実習を自己評価し教師としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。
到 達 目 標	①教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。 ②学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を体験させる。 ③授業を行う上での指導計画案の具体的な作成を行う。 ④社会人としてのエチケット、マナーの修得し実践する。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。  【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。  【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179  鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1	項目	授業ガイダンス
	学習目標・ポイント	教育実習の進め方、注意事項について
	使用する材料	
	備考	
2	項目	授業ガイダンス
	学習目標・ポイント	聴講授業の決定
	使用する材料	
	備考	
3	項目	授業聴講①
	学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
	使用する材料	
	備考	
4	項目	授業聴講②
	学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
	使用する材料	
	備考	
5	項目	授業聴講③
	学習目標・ポイント	鍼灸師科の授業を聴講する
	使用する材料	
	備考	
6	項目	授業聴講レポート作成およびディスカッション①
	学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
	使用する材料	
	備考	
7	項目	授業聴講レポート作成およびディスカッション②
	学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
	使用する材料	
	備考	
8	項目	授業聴講レポート作成およびディスカッション③
	学習目標・ポイント	聴講した授業の良かった点、課題など発表をおこなう。
	使用する材料	
	備考	
9	項目	鍼灸師養成校のカリキュラムについて(学校・単位・単位時間とは)
	学習目標・ポイント	1条校学校とは？単位制とは？単位時間とは？
	使用する材料	
	備考	
10	項目	鍼灸師養成校のカリキュラムについて(ガイドラインより)
	学習目標・ポイント	養成校の設置基準やカリキュラムについて理解を深める
	使用する材料	
	備考	
11	項目	理想とする時間割作成
	学習目標・ポイント	実際に自身が必要と思う科目時間を考える
	使用する材料	
	備考	
12	項目	理想とする時間割作成
	学習目標・ポイント	実際に自身が必要と思う科目時間を考える
	使用する材料	
	備考	
13	項目	1科目選択し15コマのシラバス作成
	学習目標・ポイント	科目を担当したとしてシラバス作成を試みる
	使用する材料	
	備考	
14	項目	実施科目選択およびおよび指導教員との打合せ
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	
15	項目	実施科目選択およびおよび指導教員との打合せ
	学習目標・ポイント	
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	教育実習
担 当 教 員	内野 容子
科 目 名 ( 中 項 目 )	教育と教員
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	各教職科目及び専門・専門基礎科目で履修し修得した知識や技術を基礎・基本にして、実際の専門学校現場で教育実習を行う。そのための事前指導また専門学校現場で実践的な指導を受ける。 また、学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を学び、工夫改善する態度を培わせる。更に教育実習を自己評価し教師としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。
到 達 目 標	①教員としての資質、能力、職業観、教職適性の有無を探求させる。 ②学生の実態に即した具体的な教育内容、技法、態度等を体験させる。 ③授業を行う上での指導計画案の具体的な作成を行う。 ④社会人としてのエチケット、マナーの修得し実践する。
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	必要出席数『「学生のおしり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。  【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。  【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179  鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

16 項	目	授業指導計画1の作成(教科担当による指導)
学習目標・ポイント		作成提出後、教科担当のアドバイスをうけ修正
使用する材料		
備考		
17 項	目	授業指導計画2の作成(教科担当による指導)
学習目標・ポイント		作成提出後、教科担当のアドバイスをうけ修正
使用する材料		
備考		
18 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 1回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
19 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 2回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
20 項	目	授業資料作成、提出、教科担当による指導 3回目
学習目標・ポイント		担当する授業の資料を作成し教科担当の指導を受ける
使用する材料		
備考		
21 項	目	模擬授業1回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
22 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
23 項	目	模擬授業2回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
24 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
25 項	目	鍼灸師科で実際に授業を担当 1回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
26 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
27 項	目	鍼灸師科で実際に授業を担当 2回目
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
28 項	目	教科担当、見学者からのフィードバック
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
29 項	目	他の学生の授業見学
学習目標・ポイント		他者の授業を見学し、自身の気づきにつなげる
使用する材料		
備考		
30 項	目	教育実習レポート作成
学習目標・ポイント		教育実習を振り返り、自身の気づきにつなげる
使用する材料		
備考		



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(講義)
担 当 教 員	泉谷 泰行
科 目 名 ( 中 項 目 )	人体と構造と機能
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、医学・医療を志す学生が学修する重要な学問の一つである。解剖学では健康な人体の構造を学修する。人体形態学論(講義)では、人体の構成、循環器系、呼吸器系、消化器系について学ぶ。
到 達 目 標	専門用語の単なる丸暗記ではなく、第三者、特に教員養成科においては解剖学の初学者である学生に対しわかりやすく説明することができる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のおしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のおしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～現在に至る 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍

1	項 目	人体の構成:細胞、組織
	学習目標・ポイント	細胞、組織について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
2	項 目	循環器系:血管系、心臓
	学習目標・ポイント	血管系、心臓について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
3	項 目	循環器系:動脈系
	学習目標・ポイント	動脈系について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
4	項 目	循環器系:静脈系、胎児循環、リンパ系
	学習目標・ポイント	静脈系、胎児循環、リンパ系について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
5	項 目	呼吸器系:鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭
	学習目標・ポイント	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
6	項 目	呼吸器系:気管、気管支、肺
	学習目標・ポイント	気管、気管支、肺について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
7	項 目	消化器系:消化管の基本構造、口腔
	学習目標・ポイント	消化管の基本構造、口腔について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
8	項 目	消化器系:咽頭、食道、胃
	学習目標・ポイント	咽頭、食道、胃について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
9	項 目	消化器系:小腸、大腸
	学習目標・ポイント	小腸、大腸について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
10	項 目	消化器系:肝臓、胆嚢
	学習目標・ポイント	肝臓、胆嚢について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
11	項 目	消化器系:膵臓、腹膜
	学習目標・ポイント	膵臓、腹膜について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
12	項 目	模擬授業①
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
13	項 目	模擬授業②
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
14	項 目	模擬授業③
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
15	項 目	模擬授業④
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(演習)
担 当 教 員	泉谷 泰行
科 目 名 ( 中 項 目 )	人体と構造と機能
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、医学・医療を志す学生が学修する重要な学問の一つである。解剖学では健康な人体の構造を学修する。人体形態学論(演習)では、運動器系について学ぶ。
到 達 目 標	専門用語の単なる丸暗記ではなく、第三者、特に教員養成科においては解剖学の初学者である学生に対しわかりやすく説明することができる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のおしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のおしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～現在に至る 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍

1	項目	運動器系の総論
	学習目標・ポイント	骨格系および筋系の総論について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
2	項目	全身の骨格: 脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格
	学習目標・ポイント	脊柱、胸郭、上肢および下肢の骨格について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
3	項目	体幹: 体幹の筋、体幹の運動、体幹の局所解剖
	学習目標・ポイント	体幹の筋、運動、局所解剖について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
4	項目	体幹: 体幹の脈管、体幹の神経
	学習目標・ポイント	体幹の脈管、神経について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
5	項目	上肢: 上肢の筋、上肢の運動、上肢の局所解剖
	学習目標・ポイント	上肢の筋、運動、局所解剖について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
6	項目	上肢: 上肢の脈管、上肢の神経
	学習目標・ポイント	上肢の脈管、神経について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
7	項目	下肢: 下肢の筋、下肢の運動、下肢の局所解剖
	学習目標・ポイント	下肢の筋、運動、局所解剖について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
8	項目	下肢: 下肢の脈管、下肢の神経
	学習目標・ポイント	下肢の脈管、神経について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
9	項目	全身の骨格: 頭蓋骨
	学習目標・ポイント	頭蓋骨の構造について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
10	項目	頭頸部: 頭頸部の筋、頭頸部の体表および局所解剖
	学習目標・ポイント	頭頸部の筋、体表および局所解剖について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
11	項目	頭頸部: 頭頸部の脈管、頭頸部の末梢神経
	学習目標・ポイント	頭頸部の脈管、末梢神経について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
12	項目	模擬授業①
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
13	項目	模擬授業②
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
14	項目	模擬授業③
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
15	項目	模擬授業④
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体形態学論(実習)
担 当 教 員	泉谷 泰行
科 目 名 ( 中 項 目 )	人体と構造と機能
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	解剖学は、医学・医療を志す学生が学修する重要な学問の一つである。解剖学では健康な人体の構造を学修する。人体形態学論(実習)では、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系について学ぶ。
到 達 目 標	専門用語の単なる丸暗記ではなく、第三者、特に教員養成科においては解剖学の初学者である学生に対しわかりやすく説明することができる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の業績 平成20年4月～平成21年3月 日本統合メディカル学院鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・はりきゅう理論を担当する。 平成20年4月～平成22年3月 バイオカレッジ京都バイオ工学学科非常勤講師 免疫学を担当する。 平成20年4月～平成28年3月 京都仏眼鍼灸理療専門学校非常勤講師 生理学・病理学概論・臨床医学総論・鍼灸理論などを担当する。 平成25年1月～令和2年3月 京都医健専門学校鍼灸学科非常勤講師 臨床医学総論・臨床医学各論・リハビリテーション医学・東洋医学概論・東洋医学臨床論などを担当する。 平成26年10月～平成31年3月 大和大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学・生化学・微生物と感染などを担当する。 平成28年4月～現在に至る 宝塚医療大学保健医療学部非常勤講師 解剖学・生理学などを担当する。 平成28年4月～令和2年3月 大阪医療技術学園専門学校東洋医療技術教員養成学科非常勤講師 人体機能学論Ⅰ・Ⅱなどを担当する。 2. 実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成24年3月 Navia鍼灸院にて鍼灸師として在籍 平成24年4月～平成25年9月 京都大学こころの未来研究センターにて研修員として在籍 平成25年4月～平成27年3月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔学専攻高次能口腔機能学専攻にて鍼灸師(研修生)として在籍 平成25年4月～平成30年3月 センヤ鍼灸堂にて鍼灸師として在籍

1	項目	泌尿器系:腎臓
	学習目標・ポイント	腎臓について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
2	項目	泌尿器系:尿路
	学習目標・ポイント	尿管、膀胱、尿道について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
3	項目	生殖器系:男性生殖器
	学習目標・ポイント	精巣、精路、外生殖器について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
4	項目	生殖器系:女性生殖器
	学習目標・ポイント	卵巣、卵管、子宮、膣、外生殖器について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
5	項目	生殖器系:受精と発生
	学習目標・ポイント	受精、卵割、着床、胚葉の形成、胎盤について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
6	項目	内分泌系:下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体
	学習目標・ポイント	下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
7	項目	内分泌系:副腎、膵臓、性腺
	学習目標・ポイント	副腎皮質、副腎髄質、膵臓、性腺について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
8	項目	神経系:神経系の構成、中枢神経系
	学習目標・ポイント	神経系の構成、中枢神経系について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
9	項目	神経系:伝導路、末梢神経系
	学習目標・ポイント	伝導路、末梢神経系について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
10	項目	感覚器系:視覚器
	学習目標・ポイント	眼球、眼球の付属器について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
11	項目	感覚器系:平衡聴覚器
	学習目標・ポイント	外耳、中耳、内耳について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
12	項目	感覚器系:味覚器、嗅覚器
	学習目標・ポイント	味覚器、嗅覚器について説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
13	項目	模擬授業①
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
14	項目	模擬授業②
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	
15	項目	模擬授業③
	学習目標・ポイント	これまでの内容を踏まえ初学者に対し説明できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(講義)
担 当 教 員	堀 英明
科 目 名 ( 中 項 目 )	人体と構造と機能
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	生理学の基本的知識(神経・筋, ホルモン, 循環・呼吸系, 体液・血液, 消化・吸収, 腎機能など)を踏まえて, 神経系・内分泌系・免疫系による全身の統合がどのようになされているかを概説する。そこから論理的な考え方を体得することが目的である。
到 達 目 標	全身の統御システムのあらましを説明することが出来る。 具体例を挙げて、生理学と解剖学の違いを説明出来る。
成績評価方法及び基準	必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行なう。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 どのような些細なことでも、疑問があれば質問し、分からないまま話題が進んでしまわないように留意すること。
教育・実務業績	1. 担当科目における教育上の実績 1977年11月～2006年3月 横浜市立大学医学部において、助手、学内講師、講師、准教授として勤務 生理学実習を分担担当する 1986年11月～2006年3月 横浜市立大学医学部において、学内講師、講師、准教授として勤務 生理学全般を分担担当する 2006年4月～2012年3月 平成医療学園横浜医療専門学院(現在名は同学校)において学術顧問、専任教員として生理学Ⅰ、Ⅱを担当する 2012年4月～2019年3月 平成医療学園宝塚医療大学において保健医療学部教授として勤務 生理学、生化学、免疫学などを担当する  2. 実務上の業績 1999年10月～2000年3月 横浜市立大学医学部において、神経生理学、循環制御学の研究に従事 査読付論文多数

1	項目	イントロダクションー新型コロナウイルスと免疫ー
	学習目標・ポイント	骨髄系の細胞の機能を踏まえて、新型コロナウイルスへの対策を論じる
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
2	項目	免疫関連細胞と自然免疫
	学習目標・ポイント	自然免疫とは何か、獲得免疫との違いは何か
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
3	項目	体液と血液 血漿蛋白
	学習目標・ポイント	蛋白質の重要性、消化吸収、分析方法
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
4	項目	核酸と蛋白合成
	学習目標・ポイント	核酸の種類とセントラルドグマ
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
5	項目	体液と血液 カルシウム
	学習目標・ポイント	カルシウムの特殊性と人体での役割、ホルモンとの関わり
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
6	項目	人体の統御システム概説
	学習目標・ポイント	3種の統御システム、神経系、内分泌系、免疫系の相互作用
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
7	項目	人体の統御システムー神経系ー
	学習目標・ポイント	体性神経系と自律神経系
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
8	項目	人体の統御システムー液性制御ー
	学習目標・ポイント	内分泌器官とホルモン
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
9	項目	血圧と酸素濃度の制御
	学習目標・ポイント	循環器と呼吸器での血圧・酸素濃度の調節
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
10	項目	酸素分圧
	学習目標・ポイント	血中酸素濃度と酸素分圧との関係、パルスオキシメータ
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
11	項目	コンプライアンス
	学習目標・ポイント	血管のコンプライアンス、肺のコンプライアンス
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
12	項目	運動の生理学
	学習目標・ポイント	運動時の骨格筋、循環器、呼吸器の変化
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
13	項目	浸透圧を調節するホルモンと腎機能
	学習目標・ポイント	腎臓の尿生成メカニズムとそれに関わるホルモン
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
14	項目	糖代謝と血糖調節
	学習目標・ポイント	糖の消化吸収と血糖を調節するホルモン
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	
15	項目	女性の生理学
	学習目標・ポイント	月経・出産・授乳
	使用する材料	プリントを配布する
	備考	



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(演習)
担 当 教 員	永瀬 佳孝
科 目 名 ( 中 項 目 )	人体と構造と機能
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	集中
授 業 概 要 ・ 目 的	本授業では、最初に、神経系を構成する細胞の形態と機能、特にその電気現象について学習する。次いで運動の調節について学習し、脊髄や脳幹における反射を中心として要素的な運動調節のレベルから、脳幹・小脳・大脳基底核・大脳皮質など上位中枢による運動の調
到 達 目 標	①神経細胞の電気現象について説明することができる。 ②運動の調節について説明することができる。 ③感覚から運動への変換について説明することができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMMA ACADEMY 郡山)(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)((2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に)
	2、実務上の業績(臨床経験等) 平成元年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曾根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師としての実務経験あり。

1 項 目	生理学の基礎
学習目標・ポイント	生理学を学ぶ意味 神経生理に必要な水に関する知識
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
2 項 目	神経系の基礎
学習目標・ポイント	神経系の構造、神経細胞、神経膠細胞
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
3 項 目	神経細胞の電気現象
学習目標・ポイント	静止膜電位、活動電位、伝導
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
4 項 目	神経細胞の電気現象
学習目標・ポイント	シナプス伝達、神経伝達物質と受容体
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
5 項 目	骨格筋
学習目標・ポイント	構造と興奮収縮連関
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
6 項 目	心筋と平滑筋 脊髄と反射
学習目標・ポイント	構造と機能の関係
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
7 項 目	脊髄と反射
学習目標・ポイント	伸張反射、自原抑制、拮抗抑制、屈曲反射、交叉性伸展反射
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
8 項 目	脳幹
学習目標・ポイント	脳幹の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
9 項 目	小脳
学習目標・ポイント	小脳の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
10 項 目	大脳皮質
学習目標・ポイント	大脳皮質の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
11 項 目	高次脳機能
学習目標・ポイント	記憶と運動機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
12 項 目	大脳基底核、大脳辺縁系
学習目標・ポイント	大脳基底核および大脳辺縁系の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
13 項 目	自律神経系①
学習目標・ポイント	自律神経の構造と機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
14 項 目	自律神経系②
学習目標・ポイント	自律神経系の求心路・遠心路
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
15 項 目	自律神経系③
学習目標・ポイント	腸管神経系
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	人体機能学論(実習)
担 当 教 員	永瀬 佳孝
科 目 名 ( 中 項 目 )	人体と構造と機能
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	感覚機能を中心に、運動機能との関連や脳波、睡眠、情動などを学習する。触圧覚、温覚・冷覚、痛覚について学習する。視覚、聴覚、平衡感覚(前庭感覚)、化学感覚(味覚と嗅覚)について学習し、それらと行動との関連を学習する。また、内臓感覚についても学習し、自律機能との関連や睡眠、情動との関連を学習する。
到 達 目 標	①感覚器の構造と機能の関係を説明することができる。 ②感覚から運動への変換について説明することができる。 ③内臓感覚と自律機能の関連及び情動について説明することができる。
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】に準ずる。  評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履 修 に あ た っ て の 注 意 ( 受 講 者 へ の メ ッ セ ー ジ )	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成5年4月 大阪大学歯学部助手(解剖学及び組織学)(平成9年3月まで) 平成5年7月 メルボルン大学解剖及び細胞生物学講座客員研究員(感覚生理学)(平成7年6月まで) 平成9年4月 大阪大学大学院歯学研究科助手(神経解剖学)(平成13年3月まで) 平成9年4月 大阪大学共通教育機構非常勤講師(情報活用基礎)(平成13年3月まで) 平成13年4月 北海道医療大学歯学部講師(口腔生理学、生理学)(平成14年7月まで) 平成14年8月 社団法人さきた歯科 院長(歯科医師)(平成15年3月まで) 平成15年4月 森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科非常勤講師(解剖学)(平成16年3月まで) 平成15年4月 国際東洋医療柔整学院(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成15年4月 東洋医療専門学校鍼灸師科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校理学療法学科(生理学)非常勤講師(平成17年3月まで) 平成15年4月 アイシーケア専門学校作業療法学科(現専門学校JMMMA ACADEMY 郡山)(生理学)非常勤講師(平成19年3月まで) 平成16年4月 森ノ宮医療大学設置準備室、森ノ宮医療学園専門学校専任教員(平成19年) 平成16年4月 大阪鳳林医療学院鍼灸学科・柔整学科非常勤講師(生理学)(平成19年3月まで) 平成17年4月 東洋医療専門学校柔道整復師科非常勤講師(生理学)(現在に至る) 平成17年4月 行岡整復専門学校整復科非常勤講師(病理学)(平成18年3月まで) 平成17年4月 西日本柔道整復専門学校非常勤講師(生理学)(平成25年3月まで) 平成19年4月 森ノ宮医療大学保健医療学部教授(生理学)(2011年から大学院、平成28年3月まで) 平成20年4月 大阪大学歯学部非常勤講師(口腔解剖学)(平成21年3月まで) 平成21年4月 大阪大学大学院歯学研究科招へい研究員(神経解剖学・神経生理学)(令和3年3月まで) 平成28年4月 宝塚医療大学保健医療学部教授(神経解剖学、神経生理学)教授(現在に至る)  2、実務上の業績(臨床経験等) 平成元年6月より10ヶ月間、医療法人豊済会小曽根病院にて歯科医師としての実務経験あり。 平成2年4月より3年3ヶ月、中川歯科医院(大阪市平野区)にて、歯科医師としての実務経験あり。 平成14年8月より8ヶ月間、社団法人さきた歯科(兵庫県川西市)にて歯科医師としての実務経験あり。

1 項 目	感覚器の一般と触圧覚
学習目標・ポイント	感覚器の一般的な性質と触圧覚受容器の関連
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
2 項 目	視覚
学習目標・ポイント	眼球の構造と機能、視覚の伝導路
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
3 項 目	視覚
学習目標・ポイント	高次視覚野
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
4 項 目	聴覚
学習目標・ポイント	耳の構造と聴覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
5 項 目	聴覚
学習目標・ポイント	聴覚の伝導路と視覚との関連
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
6 項 目	平衡感覚(前庭感覚)
学習目標・ポイント	前庭感覚と姿勢の調節、平衡感覚と前庭感覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
7 項 目	眼球運動
学習目標・ポイント	眼球を動かす筋とその調節
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
8 項 目	味覚
学習目標・ポイント	舌の解剖と味覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
9 項 目	嗅覚
学習目標・ポイント	匂いの知覚とその特徴 情動との関連
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
10 項 目	体性感覚
学習目標・ポイント	タッチ
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
11 項 目	体性感覚
学習目標・ポイント	痛みと脳の機能
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
12 項 目	温度感覚
学習目標・ポイント	温覚と冷覚の特徴
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
13 項 目	睡眠
学習目標・ポイント	睡眠の神経機構
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
14 項 目	情動
学習目標・ポイント	感情と情動、情動の神経回路
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介
15 項 目	多感覚統合
学習目標・ポイント	身体の感覚
使用する材料	
備考	参考文献を授業で紹介

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	社会医学特論(講義)
担 当 教 員	宮 寄 潤 二
科 目 名 ( 中 項 目 )	社会医学特論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	人間集団全体の健康増進や予防を推進するためには、個人へのアプローチにとどまらず、多様な集団、環境、社会システムへのアプローチを中心とした人々の健康の保持・増進、傷病の予防、リスク管理や社会制度への理解が必須である。 医学・医療の社会的側面、医学研究の社会的還元促進などに関わる多様なアプローチの有機的なつながりを考慮した人間集団全体の健康増進や予防の推進、医学・医療の社会的側面を予防医学的観点と疫学的手法から考えることを目的とする。
到 達 目 標	①自らの研究テーマを立案することが出来る。 ②文献等の検索、収集を実践できる。 ③情報を吟味し、必要なものを選択することが出来る。 ④適切な研究計画を作成することが出来る。 ⑤研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章化することが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 レポート60%、授業内課題(プレゼンテーション等)40%、あわせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年5月～平成16年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 教員助手 教務事務、基礎医学系授業補助  平成16年4月～平成25年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 専任教員 基礎医学、鍼灸学に関する講義  平成23年4月～平成25年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 非常勤講師 臨床鍼灸の実技講義、外来臨床に従事  平成25年4月～平成30年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 講師(専任) 鍼灸学に関する講義、学生管理、外来臨床  平成29年4月～平成30年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  平成30年4月～平成31年3月 熊本大学大学院生命科学研究部附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター 特定事業教員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析、運営管理業務に従事  平成31年4月～令和2年3月 常勤 令和2年4月～令和3年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  令和2年4月～令和3年3月 公益財団法人 神戸市医療産業都市推進機構 クラスタ推進センターコホート研究担当 研究員  令和3年4月～ 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 共同研究員  2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成14年4月～平成30年3月 大阪医科大学麻酔科学教室・附属病院麻酔科外来 実習生 麻酔科外来による鍼灸臨床、および臨床研究に従事

1 項 目	公衆衛生の概念と社会的意義について説明できる。
学習目標・ポイント	ガイドランス、公衆衛生学の概念、公衆衛生の歴史、健康の定義
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
2 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
3 項 目	日本の保健医療行政と疾病予防の方略について概説できる。
学習目標・ポイント	保健行政、保健医療制度、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションの展開、ポピュレーションアプローチ
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
4 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
5 項 目	主な保健医療統計や健康指標を用いてわが国の健康状況を説明できる。
学習目標・ポイント	人口動態統計、人口静態統計、比率と割合
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
6 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
7 項 目	主な保健医療統計や健康指標を用いてわが国の健康状況を説明できる。
学習目標・ポイント	死因統計
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
8 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
9 項 目	疫学的手法による疾病要因の解明の方法論を説明できる。
学習目標・ポイント	疫学の考え方とその手法、疾病発症のリスク要因の解明、交絡因子、感度・特異度
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
10 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
11 項 目	疫学的手法による疾病要因の解明の方法論を説明できる。
学習目標・ポイント	疫学調査と現在の健康に対する現状と課題
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
12 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
13 項 目	環境問題とその健康への影響について説明できる。
学習目標・ポイント	環境問題の変遷と現状、そして課題
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
14 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
15 項 目	環境問題とその健康への影響について説明できる。
学習目標・ポイント	物理化学的要因(大気、水)、生物学的環境要因、生活社会的環境
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	社会医学特論(講義)
担 当 教 員	宮 寄 潤 二
科 目 名 ( 中 項 目 )	社会医学特論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	人間集団全体の健康増進や予防を推進するためには、個人へのアプローチにとどまらず、多様な集団、環境、社会システムへのアプローチを中心とした人々の健康の保持・増進、傷病の予防、リスク管理や社会制度への理解が必須である。 医学・医療の社会的側面、医学研究の社会的還元促進などに関わる多様なアプローチの有機的なつながりを考慮した人間集団全体の健康増進や予防の推進、医学・医療の社会的側面を予防医学的観点と疫学的手法から考えることを目的とする。
到 達 目 標	①健康の維持・増進、疾病の予防ならびに健康格差や健康に関する社会環境要因について説明できる ②主な保健統計指標の定義、意義、用途について説明できる ③人口静態統計による人口構成、死因別死亡等の現状と変遷について説明できる ④疫学の基礎的な方法について概説できる ⑤疫学情報の収集方法とエビデンスレベルについて説明できる ⑥がん、脳卒中、心疾患、糖尿病の現状と対策、栄養・食生活との関わりについて説明できる ⑦近年の感染症の動向、感染症の内容ならびに精神保健の現状、自殺、不慮の事故等の
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 レポート60%、授業内課題(プレゼンテーション等)40%、あわせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年5月～平成16年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 教員助手 教務事務、基礎医学系授業補助  平成16年4月～平成25年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 専任教員 基礎医学、鍼灸学に関する講義  平成23年4月～平成25年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 非常勤講師 臨床鍼灸の実技講義、外来臨床に従事  平成25年4月～平成30年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 講師(専任) 鍼灸学に関する講義、学生管理、外来臨床  平成29年4月～平成30年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  平成30年4月～平成31年3月 熊本大学大学院生命科学研究部附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター 特定事業教員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析、運営管理業務に従事  平成31年4月～令和2年3月 常勤 令和2年4月～令和3年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  令和2年4月～令和3年3月 公益財団法人 神戸市医療産業都市推進機構 クラスタ推進センターコホート研究担当 研究員 研究の管理運営、データ解析  令和3年4月～ 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 共同研究員  2、実務上の業績(臨床経験等) ※業績がない場合は記入不要です。 平成14年4月～平成30年3月 大阪医科大学麻酔科学教室・附属病院麻酔科外来 実習生 麻酔科外来による鍼灸臨床、および臨床研究に従事

16 項 目	15と同様
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
17 項 目	感染症について、その成立、予防、対策について説明できる。
学習目標・ポイント	感染症について、感染症の動向
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
18 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
19 項 目	感染症について、その成立、予防、対策について説明できる。
学習目標・ポイント	疾病予防の概念とその予防対策
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
20 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
21 項 目	わが国の様々な保健行政の役割について理解し概説できる。
学習目標・ポイント	精神保健、メンタルヘルス
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
22 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
23 項 目	生活習慣病の現状と対策、栄養と食生活の関りについて概説できる。
学習目標・ポイント	生活習慣病に関する疫学、要因、問題点
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
24 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
25 項 目	生活習慣病の現状と対策、栄養と食生活の関りについて概説できる。
学習目標・ポイント	社会経済格差による健康の社会的決定要因
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
26 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
27 項 目	国際保健の組織と役割について概説できる。
学習目標・ポイント	国際保健活動、WHO、災害保健
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
28 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	
29 項 目	プレゼンテーション
学習目標・ポイント	本演習で学んだことに関連して自分の考えをプレゼンテーションできる
使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
30 項 目	同上
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床論(講義)
担 当 教 員	松元 隆司
科 目 名 ( 中 項 目 )	東洋医学特論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、エクササイズを中心として身体評価とコンディショニングで出来る事知識をもつ。
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1980～2001 阪急ブレーブス・オリックスブルーウェーブでトレーナーとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学Ⅰ マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

1	項目	コンディショニングの意味
	学習目標・ポイント	現場に於いてのコンディショニングの目的
	使用する材料	
	備考	
2	項目	チームストレナーの役割
	学習目標・ポイント	選手の障害予防を主として予防について
	使用する材料	
	備考	
3	項目	障害予防のコンディショニング
	学習目標・ポイント	障害予防に関する評価と治療
	使用する材料	
	備考	
4	項目	投球障害について
	学習目標・ポイント	全身運動のメカニズムと評価
	使用する材料	
	備考	
5	項目	コンディショニングの実際
	学習目標・ポイント	マッサージ、ストレッチ、エクササイズ(トレーニング)を考える
	使用する材料	
	備考	
6	項目	足底からの運動連鎖
	学習目標・ポイント	回内足・回外足・開張足の身体への影響
	使用する材料	
	備考	
7	項目	足アーチの重要性
	学習目標・ポイント	足底の働きと機能不全のコンディショニング 回内足回外足からの障害
	使用する材料	
	備考	
8	項目	下腿から膝
	学習目標・ポイント	機能不全による障害 シンスプリントete外脛骨
	使用する材料	
	備考	
9	項目	膝から大腿
	学習目標・ポイント	股関節と足から膝への影響 knee-intoe-out knee-ou to too-in
	使用する材料	
	備考	
10	項目	大腿と股関節と腰椎
	学習目標・ポイント	腰痛のメカニズム(腰椎骨盤リズム)
	使用する材料	
	備考	
11	項目	体幹エクササイズ的重要性
	学習目標・ポイント	体幹エクササイズの意義 腹圧の概念
	使用する材料	
	備考	
12	項目	腸腰筋と胸腰腱膜
	学習目標・ポイント	股関節、屈筋と大殿筋の関係 矢状面のマッスルバランスの考え方
	使用する材料	
	備考	
13	項目	肩甲骨の動きと姿勢
	学習目標・ポイント	円背が肩甲骨に与える影響 肩甲骨外転、ローテーターカフへの影響
	使用する材料	
	備考	
14	項目	前方頭位(肩こり)の考え方
	学習目標・ポイント	緊張筋と弛緩筋 アップークロスシンドローム
	使用する材料	
	備考	
15	項目	腰痛肩こりの運動連鎖
	学習目標・ポイント	全身からの考察
	使用する材料	
	備考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床論(講義)
担 当 教 員	松元 隆司
科 目 名 ( 中 項 目 )	東洋医学特論
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(60)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	スポーツ現場に於いてコンディショニングについて機能解剖を基本にマッサージ、ストレッチ、エクササイズを中心として身体評価とコンディショニングで出来る事知識をもつ。
到 達 目 標	上記の目的に向かって具体的に知識を現場で選手に実感させる技術を持つ。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 評価試験(授業内評価)で100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	担当科目における教育上の業績(1400文字以内) 1980～2001 阪急ブレイブス・オリックスブルーウェーブでトレーナーとして就業 トレーナー業務の実践 2003～現在 大阪医専 非常勤講師 スポーツ医学Ⅰ マッサージ概論担当 2008～2011 名古屋医専 専任教員 コンディショニング担当 2016～2020 明治国際医療大学 特任教授 スポーツ柔整学、アスレチックリハビリ担当

16 項	目	鍼灸師ができるコンディショニング
学習目標・ポイント		コンディショニングの実際
使用する材料		
備考		
17 項	目	トレーナーの役割と臨床現場での立場
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
18 項	目	足底のコンディショニング(マッサージ、ストレッチ、ex)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
19 項	目	下腿のコンディショニング(マッサージ、ストレッチ、ex)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
20 項	目	大腿の筋とコンディショニング(マッサージ、ストレッチ、ex)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
21 項	目	大腿四頭筋と大腿二頭筋のコンディショニングの考え方
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
22 項	目	大殿筋、外旋6筋を含む股関節のコンディショニング
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
23 項	目	大殿筋の筋力低下が身体に及ぼす影響
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
24 項	目	大腿筋が骨盤前後傾に及ぼす影響
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
25 項	目	腰痛の考え方とコンディショニング
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
26 項	目	体幹トレーニングの意味
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
27 項	目	円背が肩甲骨に及ぼす影響とコンディショニング
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
28 項	目	肩甲上腕リズムと肩甲骨モビライゼーション
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
29 項	目	肩こり(前方頭位について)
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
30 項	目	実技の復習
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	あはき臨床応用学(演習)
担 当 教 員	宮 壽 潤 二
科 目 名 ( 中 項 目 )	東洋医学特論
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	演習
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	あはき臨床は経験的、実証的の学問である。しかしながら現代医療において必要なエビデンスの考え方や対象疾患、禁忌を理解し、その効果やメカニズムを検証することは重要である。本演習では、あはき臨床を検証するために必要な考え方や知識を学び実践することを
到 達 目 標	1. あはき臨床の強みと限界を知ることができる。 2. あはきの応用分野を理解しエビデンスレベルを知っている。 3. あはき臨床に関連する基礎的メカニズムを知っている。 4. あはきの効果検証に必要なさまざまな評価方法を知っている。 5. あはき臨床に対して批判的吟味ができる。
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 レポート60%、授業内課題(プレゼンテーション等)40%、あわせて100%で評価を行う。
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年5月～平成16年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 教員助手 教務事務、基礎医学系授業補助  平成16年4月～平成25年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 専任教員 基礎医学、鍼灸学に関する講義  平成23年4月～平成25年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 非常勤講師 臨床鍼灸の実技講義、外来臨床に従事  平成25年4月～平成30年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 講師(専任) 鍼灸学に関する講義、学生管理、外来臨床  平成29年4月～平成30年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  平成30年4月～平成31年3月 熊本大学大学院生命科学研究部附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター 特定事業教員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析、運営管理業務に従事  平成31年4月～令和2年3月 常勤 令和2年4月～令和3年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  令和2年4月～令和3年3月 公益財団法人 神戸市医療産業都市推進機構 クラスタ推進センターコホート研究担当 研究員 研究の管理運営、データ解析  令和3年4月～ 慶應義塾大学医学部公衆衛生学教室 共同研究員  2、実務上の業績(臨床経験等)  平成14年4月～平成30年3月 大阪医科大学麻酔科学教室・附属病院麻酔科外来 実習生 麻酔科外来による鍼灸臨床、および臨床研究に従事

1	項目	オリエンテーション
	学習目標・ポイント	本講義の概要とスケジュール説明
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
2	項目	あはきの臨床効果について
	学習目標・ポイント	臨床医学とはなにか、あはきにおける臨床とはなにかについて議論できる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
3	項目	あはきの予防医学的効果について
	学習目標・ポイント	あはきの予防医学的効果や未病について議論できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
4	項目	あはきのエビデンスについて
	学習目標・ポイント	あはき、または臨床医学の中でのあはきのエビデンスについて知っている。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
5	項目	東洋医学的診断とバイオマーカーについて
	学習目標・ポイント	東洋医学における診断的価値について議論できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
6	項目	あはき臨床に関連するメカニズム
	学習目標・ポイント	痛みのメカニズムとあはきとの関連について概説できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
7	項目	あはき臨床に関連するメカニズム
	学習目標・ポイント	自律神経関連のメカニズムとあはきとの関連について概説できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
8	項目	あはき臨床に関連するメカニズム
	学習目標・ポイント	内科的疾患のメカニズムとあはきとの関連について概説できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
9	項目	あはき臨床に関連するメカニズム
	学習目標・ポイント	内科的疾患のメカニズムとあはきとの関連について概説できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
10	項目	あはきの効果検証に必要な評価方法
	学習目標・ポイント	VAS、NRSの評価を用いることができる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
11	項目	あはきの効果検証に必要な評価方法
	学習目標・ポイント	QOL うつ病関連質問表の評価を用いることができる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
12	項目	あはきの効果検証に必要な評価方法
	学習目標・ポイント	整形外科的評価、フレイルティ、サルコペニアの評価を用いることができる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
13	項目	あはきの効果検証に必要な評価方法
	学習目標・ポイント	超音波診断装置の応用可能性について知っている
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
14	項目	あはき臨床の強みと限界について
	学習目標・ポイント	あはき臨床の強みと限界について議論できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
15	項目	プレゼンテーション
	学習目標・ポイント	本演習で学んだことに関連して自分の考えをプレゼンテーションできる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習①
担 当 教 員	佐原 俊作
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床実習
単 位 数 ( 時 間 数 )	6(270) うち100時間を佐原担当
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	前期・集中
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしおり」Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 2013年4月～2017年3月:京都市立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 2017年4月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当  【実務業績】 2011年4月～2013年3月:明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月:京都市立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月:札幌スポーツ&メディカル専門学校付属鍼灸院での施術  【研究実績】 2012年 全日本鍼灸学会学術大会 一般発表 2012年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2012年 日本線維筋痛症学会学術集会 一般発表 2013年 全日本鍼灸学会近畿支部学術大会 一般発表 2015年 東洋療法試験財団研究費「鍼灸師・マッサージ師のための痛み学習システム」の構築 研究班員 2015年 東洋療法試験財団研究費「鍼灸師・あんまマッサージ師」のための痛み学習の習得状況に関する評価システム」の開発 研究班員

1 項 目	1~50
学習目標・ポイント	施術所における実習を行う。 教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	
2 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
3 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
4 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
5 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
6 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
7 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
8 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
9 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
10 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
11 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
12 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
13 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
14 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
15 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	



年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習②
担 当 教 員	久保 益秀
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床実習
単 位 数 ( 時 間 数 )	6(270) うち110時間を久保が担当
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて教員指導の下、医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行える知識や技術を養う。
到 達 目 標	①基本的な患者対応、医療面接から治療までの一連の流れとして行える。 ②患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 ③観察した症例を正確に記入し、病態や治療方針について他者に説明ができる。 ④症例数70例以上、症例報告を作成する。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成31年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講 鍼灸臨床実技を担当  【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務  【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性につ いて 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性につ いて 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表

1 項 目	1~55
学習目標・ポイント	施術所における実習を行う。 教員指導の下、患者に医療面接、診察により、病態把握し、適切な治療を行う。 カルテに正しく記入し、鍼灸師科学生に病態や治療方針について説明や指導を行う。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。
使用する材料 備 考	
2 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
3 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
4 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
5 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
6 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
7 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
8 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
9 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
10 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
11 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
12 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
13 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
14 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
15 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	臨床実習③
担 当 教 員	奈良 上眞
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床実習
単 位 数 ( 時 間 数 )	6(270)のうち60時間を奈良が担当
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床ができることを目的とする。また、四診法に基づいた診察法を客観評価でき、収集した身体情報を弁証分析し、治療方針を明確にし、鍼灸配穴(理由を明確)を確定することを目的とする。
到 達 目 標	中医学基礎理論が理解できる。中医診察技法(舌脈診法)を実践し演じることができる。弁証分析や治療方針を確定し説明できる。鍼灸配穴を配穴理由を明確に説明することができる。総合的に中医学の観点から症例報告ができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験を70%、各授業でのカルテ作成の提出を30%合わせて100%で評価を行う。(尚、カルテ作成は、症例作成とする。症例数は15症例とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ 学内生活 3 受講の心得について』に従うこと。 無断で教室からの退出を禁止する。水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。詳しくは初回に説明する。  中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床実習を実施するので、事前に、中医学基礎理論を学び直しのこと。
教育・実務業績	1, 担当科目における教育上の業績 2009(平成21)年4月～2020(令和3)年3月。 大阪医療技術学園専門学校において東洋医療技術教員養成学科教員および学科長として 東洋医学特論、鍼灸臨床学、鍼灸応用学、鍼灸臨床実習、原典(古典)閲読を担当する。 2, 実務上の業績(臨床経験等) 2004平成16)年4月～現在 奈良鍼灸治療院青雲堂にて鍼灸師、院長として勤務。 3, 研究業績(執筆) 1) 鍼灸医学大辞典:奈良上眞ら(共著), 医歯薬出版, 2012年。 2) 鍼灸美容学:奈良上眞ら(共著), 静風社, 2016年。 3) 小児鍼の伝承技術の考察 - 暗黙知から形式知への検討 - :奈良上眞, 日本小児はり学会会誌, 2019。 4) 意念・意守をもちいた補瀉手技:奈良上眞, 中医臨床, 2012年。 5) 婦人科疾患における中医診療の実際:奈良上眞, 日本良導絡自律神経学会雑誌, 2006年。 6) 中医学の臨床・基礎知識:鍼灸OSAKA, 1998年。 7) 「得気」(鍼のひびき)についての文献的考察:奈良上眞, 明治鍼灸医学, 1991年。

1	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床の基本概要から臨床応用が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	中医学基礎理論の基本概要を理解していること。
2	項目	鍼灸臨床実習、管鍼法による基本操作。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。管鍼法による基本操作ができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備考	管鍼法の基本操作を事前に練習していること。
3	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床の基本概要から臨床応用が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	中医学基礎理論の基本概要を理解していること。
4	項目	鍼灸臨床実習、中医学鍼灸刺鍼法の基本操作。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。中国式刺鍼法による基本操作ができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備考	刺鍼の基本操作を事前に練習していること。
5	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、中医学診察法(舌診)について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、舌診察法が理解できる。
	使用する材料	配布資料。
	備考	中医学診察法、舌診察法の基本を理解していること。
6	項目	鍼灸臨床実習、特に、舌診法基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、舌診察法を演じることができ、基本的病証を説明できる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備考	中医学診察法、舌診察法の基本を理解していること。
7	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、中医学診察法(脈診)について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、脈診察法が理解できる。
	使用する材料	配布資料。
	備考	中医学診察法、脈診察法の基本を理解していること。
8	項目	鍼灸臨床実習、特に、脈診法基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、脈診察法を演じることができ、脈状および基本的病証を説明できる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備考	中医学診察法、脈診察法の基本を理解していること。
9	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、経脈、経筋の基本概念について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、経脈、経筋の基本概念が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	基本的経脈流注および要穴表を理解していること。
10	項目	鍼灸臨床実習、中医学鍼灸刺鍼法の基本操作。特に、経穴反応、経穴診察法。
	学習目標・ポイント	中医学診察法、経穴診察法を演じることができ、経穴反応の基本的病証を説明できる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備考	基本的経脈流注および要穴表を理解していること。
11	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、肝系病症の基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的肝系病症が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	中医学的肝の基本的生理機能を理解していること。
12	項目	鍼灸臨床実習、特に、一般症状(肩こり)に対する遠隔療法。
	学習目標・ポイント	遠隔的に一般症状(肩こり)の鍼灸治療を演じることができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備考	肩こりに対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと。
13	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、腎系病症の基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的腎系病症が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	中医学的腎の基本的生理機能を理解していること。
14	項目	鍼灸臨床実習、特に、一般症状(腰痛)に対する遠隔療法。
	学習目標・ポイント	遠隔的に一般症状(腰痛)の鍼灸治療を演じることができる。
	使用する材料	配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
	備考	腰痛に対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと。
15	項目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習。特に、脾系病症の基礎について。
	学習目標・ポイント	中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的脾系病症が理解できる。
	使用する材料	配布資料
	備考	中医学的脾の基本的生理機能を理解していること。

16 項	目	鍼灸臨床実習、特に、一般症状(肩関節痛)に対する遠隔療法。
学習目標・ポイント		遠隔的に一般症状(肩関節痛)の鍼灸治療を演じることができる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
備考		肩関節痛に対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと。
17 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習、特に、肺系病症の基礎について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的肺系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学的肺の基本的生理機能を理解していること。
18 項	目	鍼灸臨床実習、特に、一般症状(膝痛)に対する遠隔療法(巨刺法)。
学習目標・ポイント		遠隔的に一般症状(膝痛)の鍼灸治療を演じることができる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
備考		膝痛に対する遠隔的鍼灸治療法を検討しておくこと。
19 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習、特に、鍼灸配穴の基礎について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、基本的鍼灸配穴が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		要穴表による鍼灸治療法を検討しておくこと。
20 項	目	鍼灸臨床実習、特に、五臓弁証分析に対する鍼灸療法。
学習目標・ポイント		鍼灸診療における五臓弁証分析を演じることができ、分析鑑別要点を説明できる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
備考		八綱、臓腑の鑑別要点を検討しておくこと。
21 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習、特に、肝系病症の応用について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、応用的肝系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学的肝の基本的病理機序を理解していること。
22 項	目	鍼灸臨床実習、特に、接触鍼法(小里式鍳鍼、調気鍳鍼)の基本操作。
学習目標・ポイント		接触鍼法(小里式鍳鍼、調気鍳鍼)の基本操作を演じることができ、脈状の変化を確認できる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
備考		基本的接触鍼法を理解していること。
23 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習、特に、腎系病症の応用について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、応用的腎系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学的腎の基本的病理機序を理解していること。
24 項	目	鍼灸臨床実習、特に、中医鍼灸技法、単式補瀉法。
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法、単式補瀉法を演じることができる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
備考		基本的補瀉法を理解していること。
25 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習、特に、脾系病症の応用について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、応用的脾系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学的脾の基本的病理機序を理解していること。
26 項	目	鍼灸臨床実習、特に、中医鍼灸技法、複式補瀉法。
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法、複式補瀉法を演じることができる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
備考		基本的補瀉法を理解していること。
27 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習、特に、肺系病症の応用について。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、応用的肺系病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学的肺の基本的病理機序を理解していること。
28 項	目	鍼灸臨床実習、特に、焼山火法、透天涼法。
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法、焼山火法、透天涼法を演じることができる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。
備考		基本的補瀉法を理解していること。
29 項	目	中医学基礎理論に基づいた、鍼灸臨床実習、総合まとめ。
学習目標・ポイント		中医学基礎理論に基づいた鍼灸臨床、特に、総合的五臓病症が理解できる。
使用する材料		配布資料
備考		中医学的五臓の総合的病理機序を理解していること。
30 項	目	鍼灸臨床実習、意念意守鍼灸療法。
学習目標・ポイント		中医鍼灸技法、基本的意念意守鍼灸療法を演じることができる。
使用する材料		配布資料、鍼灸臨床衛生道具、鍼灸針(1寸1番、1寸3番)。

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	はりきゅうケースカンファレンス
担 当 教 員	久保 益秀
科 目 名 ( 中 項 目 )	臨床実習
単 位 数 ( 時 間 数 )	1(45)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	集中・後期
授 業 概 要 ・ 目 的	付属治療院にて行った治療に対し事例検討を行い、解決すべき内容を含み事実について、その状況・原因・対策を明らかにする。
到 達 目 標	①ケースカンファレンスによって患者の理解を深め、そこを起点として対人援助の視点から今後の援助または治療方針を導き出す。 ②自身の症例を発表することによって、プレゼンテーション能力を高める。 ③他者の症例を検討することによって、分析・検討・治療方針計画の実践力を高める。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～平成24年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科非常勤講師 東洋医学臨床論を担当 平成15年6月～現在 平成医療学園専門学校 特別講義非常勤講師 手技療法・鍼灸臨床実技を担当 平成24年4月～平成30年3月 平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科非常勤講師 鍼灸臨床実技を担当  【実務業績】 平成元年5月～平成6年4月 木村クリニック リハビリテーション科に 鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師として勤務 平成6年5月～平成9年1月 久保整骨院(大阪市中央区) 開院 院長として勤務 平成9年2月～現在 久保整骨院(岸和田市) 開院 院長として勤務 平成24年10月～現在 久保鍼灸マッサージ院 開院 院長として勤務  【研究実績】 肥満遺伝子に関わる遺伝体質と東洋医学的所見(自覚的所見)による体質との関連性について 平成27年10月 第22回日本未病システム学会 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMIとの関連性について 平成27年12月 第14回日本栄養改善学会近畿支部 学術総会一般発表 東洋医学的体質とBMI、生活習慣、食嗜好、食行動との関連 平成28年6月 第52回日本循環器病予防学会 学術集会一般発表 BMI型肥満に陥りやすい「胃熱体質」者の行動因子及び肥満関連遺伝子との関係性について 平成29年11月 第24回日本未病システム学会 学術総会一般発表

1 項 目	1~23
学習目標・ポイント	自ら担当した患者の症例を発表し、客観的に症例について再度検討を行う。 教員指導の下、症例をもとに、病態把握や治療方針、治療方法について検討をおこなう。 患者の苦痛を理解し、医療従事者としてのモラルと使命感を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション能力を養う。 客観的に症例を検討することによって、分析・検討・実践力を高める。
使用する材料 備 考	
2 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
3 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
4 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
5 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
6 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
7 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
8 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
9 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
10 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
11 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
12 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
13 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
14 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	
15 項 目	
学習目標・ポイント	
使用する材料 備 考	

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	研究法
担 当 教 員	宮 壽 潤 二
科 目 名 ( 中 項 目 )	研究法とその方法
単 位 数 ( 時 間 数 )	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	厚間部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	研究では、様々な事象に対する疑問の定式化から、その疑問を解決するために適切な方法を選択して計画を立て、そして実施する必要がある。そこで卒業研究を踏まえて、研究を実践していく上で必要な基礎知識とスキルを身につける場が必要である。 本講義の目的は、研究とはどのような営みであるのかを知り、正しい研究テーマの立て方から、生命倫理・研究倫理について理解するとともに、実際に研究計画を立てられるようにすることにある
到 達 目 標	1. 研究とはなにかを理解し、その手法と研究倫理について理解できる。 2. リサーチクエスチョンを立てることができる。 3. 情報リテラシーを持ち、PCやインターネットを使い文献検索できる。 4. 統計解析の基礎を理解できる。 5. スライドの作成から発表までを行うことができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数【「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】】に準ずる。  鍼灸・東洋医学・統合医療などの分野に関連する研究計画の作成 60%、 授業内課題(プレゼンテーション、レポート等)40%、あわせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年5月～平成16年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 教員助手 教務事務、基礎医学系授業補助  平成16年4月～平成25年3月 平成医療学園専門学校 鍼灸師科 専任教員 基礎医学、鍼灸学に関する講義  平成23年4月～平成25年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 非常勤講師 臨床鍼灸の実技講義、外来臨床に従事  平成25年4月～平成30年3月 宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 講師(専任) 鍼灸学に関する講義、学生管理、外来臨床  平成29年4月～平成30年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  平成30年4月～平成31年3月 熊本大学大学院生命科学研究部附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター 特定事業教員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析、運営管理業務に従事  平成31年4月～令和2年3月 常勤 令和2年4月～令和3年3月 非常勤 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室 特任研究員 環境省プロジェクトコホート研究、データ解析に従事  令和2年4月～令和3年3月 公益財団法人 神戸市医療産業都市推進機構 クラスタ推進センターコホート研究担当 研究員 研究の管理運営、データ解析  令和3年4月～ 慶應義塾大学医学部公衆衛生学教室 共同研究員  2、実務上の業績(臨床経験等)  平成14年4月～平成30年3月 大阪医科大学麻酔科学教室・附属病院麻酔科外来 実習生 麻酔科外来による鍼灸臨床、および臨床研究に従事



1	項目	オリエンテーション
	学習目標・ポイント	本講義の概要とスケジュール説明
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
2	項目	研究とは？研究手法について
	学習目標・ポイント	研究の概要、研究倫理とヘルシンキ宣言についての概要
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
3	項目	リサーチクエスションとは何か
	学習目標・ポイント	リサーチクエスションからアウトカムの設定1
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
4	項目	リサーチクエスションとは何か
	学習目標・ポイント	リサーチクエスションからアウトカムの設定2
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
5	項目	情報リテラシーと文献検索方法
	学習目標・ポイント	PCやインターネットを使い文献検索ができる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
6	項目	統計解析
	学習目標・ポイント	統計解析の手法について
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
7	項目	統計解析
	学習目標・ポイント	統計解析の実践できる
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
8	項目	論文とは
	学習目標・ポイント	良い論文について、論文の構造、書き方について知っている。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
9	項目	論文とは
	学習目標・ポイント	論文を読みPICO/PECOについて把握できる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
10	項目	研究計画の作成
	学習目標・ポイント	仮説を設定し研究の概要を考えることができる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
11	項目	研究計画の作成
	学習目標・ポイント	仮説に関連する研究背景を文献的に提示できる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
12	項目	研究計画の作成
	学習目標・ポイント	仮説検証のための方法を立案できる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
13	項目	研究計画の作成
	学習目標・ポイント	仮説検証のための方法を立案できる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
14	項目	スライド作成と発表1
	学習目標・ポイント	立案した研究計画についてプレゼンテーションを作成できる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること
15	項目	スライド作成と発表2
	学習目標・ポイント	立案した研究計画についてプレゼンテーションができる。
	使用する材料	パワーポイント、Web、プリント等を適宜使用する
	備考	スマホ、タブレット、PC等、Webに接続できるデバイスを用意すること

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	卒業論文
担 当 教 員	内野 容子
科 目 名 ( 中 項 目 )	研究とその方法
単 位 数 ( 時 間 数 )	4(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教員の指導のもとで研究活動を行い、情報収集、吟味、データ集積、整理、分析、論文作成に関する一連の作業を、実践を通じて修得する。
到 達 目 標	①自らの研究テーマを立案することが出来る。 ②文献等の検索、収集を実践できる。 ③情報を吟味し、必要なものを選択することが出来る。 ④適切な研究計画を作成することが出来る。 ⑤研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章化することが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度、提出物(卒業論文)で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。  【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。  【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179  鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

1 項	目	授業ガイダンス
学習目標・ポイント		卒業論文作成までの流れ説明
使用する材料		
備考		
2 項	目	卒業論文の書き方について
学習目標・ポイント		論文規定についてデータベース検索の方法について
使用する材料		
備考		
3 項	目	卒業論文の書き方について
学習目標・ポイント		論文規定についてデータベース検索の方法について
使用する材料		
備考		
4 項	目	研究テーマの検討
学習目標・ポイント		興味のあるいくつかのテーマを決めデータベース検索を行う
使用する材料		
備考		
5 項	目	研究計画の作成
学習目標・ポイント		実際にテーマを決め計画を立てる
使用する材料		
備考		
6 項	目	研究計画の作成
学習目標・ポイント		実際にテーマを決め計画を立てる
使用する材料		
備考		
7 項	目	研究計画の作成
学習目標・ポイント		実際にテーマを決め計画を立てる
使用する材料		
備考		
8 項	目	研究計画の報告
学習目標・ポイント		目的・方法を提出
使用する材料		
備考		
9 項	目	事前研究
学習目標・ポイント		各自テーマに沿った研究を行う
使用する材料		
備考		
10 項	目	事前研究
学習目標・ポイント		各自テーマに沿った研究を行う
使用する材料		
備考		
11 項	目	研究計画の再検討
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
12 項	目	研究
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
13 項	目	研究
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
14 項	目	中間報告
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
15 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		

年 度	令和4年度
学 科	東洋療法教員養成学科
開 講 科 目 名	卒業論文
担 当 教 員	内野 容子
科 目 名 ( 中 項 目 )	研究と研究方法
単 位 数 ( 時 間 数 )	4(60)
配 当 年 次	2年次
部	昼間部
授 業 形 態	実習
開 講 期 間	通年
授 業 概 要 ・ 目 的	教員の指導のもとで研究活動を行い、情報収集、吟味、データ集積、整理、分析、論文作成に関する一連の作業を、実践を通じて修得する。
到 達 目 標	①自らの研究テーマを立案することが出来る。 ②文献等の検索、収集を実践できる。 ③情報を吟味し、必要なものを選択することが出来る。 ④適切な研究計画を作成することが出来る。 ⑤研究を計画的に実践し、必要なデータを客観的に収集できる。 ⑥目的に準じた結果を適切に解釈し、論理的に文章化することが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のおしり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 出席状況や実習態度、提出物(卒業論文)で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のおしり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。  授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教育・実務業績	【教育業績】 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。  【実務業績】 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部付属病院 病院研修生 大阪大学歯学部付属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。  【研究実績】 鍼治療とB型・C型肝炎感染に関する文献レビュー 2016年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)66巻3号 p166-179  鍼治療と肝炎感染の関連についての文献レビューにおけるハンドサーチの重要性 システマティック・レビューの変法による検証 2017年8月 全日本鍼灸学会雑誌(0285-9955)67巻3号 p201-214

16 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
17 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
18 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
19 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
20 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
21 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
22 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
23 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
24 項	目	研究及び論文作成
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
25 項	目	論文発表
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
26 項	目	論文発表
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
27 項	目	論文修正
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
28 項	目	論文修正
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
29 項	目	製本作業
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		
30 項	目	提出振り返り
学習目標・ポイント		
使用する材料		
備考		